これならできる！ スクールタクト 校内研修のはじめかた

これなら
できる！

school Takt

校内研修のはじめかた

これならできる！

school Takt

校内研修のはじめかた

まえがき

はじめに

−不確実性の高い社会で未来の学びを探求する先生方へ−

▶「GIGAスクール構想で1人1台端末が整備されて、授業支援システムも導入されたが、使い方が難しいのではないか?」「ICTを使うことで、理想の授業が本当に実現できるのか?」GIGAスクールが始まり、新型コロナウイルス下で寄せられた先生方の声です。

▶「変化の激しい社会を生きるために必要な力である『生きる力』を身につけるため、ICTを活用した個別最適な学びの実現を目指す」という総論には共感をしつつも、お忙しい日々を過ごされる先生方にとって、具体的な活用方法を模索しているか、活用方法の模索にまで至っていない先生方も多くいらっしゃると思います。

▶ 今回皆さまに手に取っていただく「スクールタクト」は、代表の後藤が、先生が指揮者として、奏者である生徒の無限の可能性を引き出す、そんな環境を作るための「タクト」を作りたいと思い、2011年に開発されました。

▶ スクールタクトは多面的にものを見たり、興味・関心をもって主体的に才能を磨いたり、様々な価値観の人たちと交わりながら物事を進めたり…これらの力を身につけるために欠かせない、「みんなで学び合う場」をICTで実現できる授業支援クラウドです。

▶ スクールタクトが産声を上げてから、これまで沢山の想いある先生や教育委員会、保護者の皆さま、そして何より子供たちに支えられながらやってきました。

▶「理想の教育」は非常に奥深く、かつ先生一人ひとりによって定義が異なる中、スクールタクトをご活用いただくことで、普段発言の少ない生徒でもオンライン上で活発に意見を言ったり、生徒同士で質問し合うことで深い学びに到達したり、相互理解を深め合うことで、新学習指導要領の3観点の育成、もっと言えば、子供たち一人ひとりが自立して生き抜いていくための素地を養うキッカケが生まれるかもしれません。

▶ 教員経験の長い諸先輩方と比べれば、スクールタクトはまだまだ「若手」の部類に入りますが、未来の学びの黒子として、これからも進化を遂げながら先生・生徒の皆さまと伴走してまいります。

▶「これならできる!スクールタクト校内研修」が、皆さまの未来に向けた理想の学びのあり方を実現する一つのご縁となれば幸いです。

スクールタクトについて

スクールタクトとは？

▶ スクールタクトは、機種を問わずにICTを活用した授業ができる授業支援クラウドです。現在では当たり前となっているクラウドサービスの到来を見据え、手軽でカンタンに使える製品であることを大切にしてきました。

▶ 使い易さはもちろん、既存の先生方の動線を意識した設計や生徒の参加意欲を向上させる仕組などが評価され、2021年度には累計ライセンスが100万を突破いたしました。

▶ 先生と生徒のやり取りに加えて生徒間での交流が生まれるため、授業利用の他、学級活動や生徒会活動など生徒が主体的に活動する授業外活動でもご利用いただけます。

株式会社コードタクト　代表取締役 CEO
後藤 正樹

スクールタクトのメリット

圧倒的な使い易さ

先生方の声を反映させた直観的な操作画面により、シンキングツールなどの豊富な課題テンプレートを使いながら安心かつ質の高い授業ができます。

先生の多様な授業スタイルに対応

一斉授業・協働学習・反転授業などの授業スタイルに幅広く対応。更にはオフライン・オンラインを組み合わせた授業設計も可能です。

導入・運用管理がカンタン

クラウドで稼働するため、運用コストを削減。また、アプリのインストール等の面倒な手続きは一切不要です。

生徒の個性や魅力を引き出し、授業への参加意欲を高める

生徒が入力したデータをもとに、独自のログ分析を行うことにより、生徒の個性や魅力を把握できます。また、友だちの意見に触れることで気づきや自己効力感を醸成し、授業への参加意欲を高められます。

この本の目的について

ー ICT 研修のよりどころとしてー

▶「これならできる！スクールタクト校内研修のはじめかた」は、新学習指導要領を踏まえた学びを実現するためのツールとして、まずはICT機器があまり得意ではない先生方も含めて広く触れていただき、立ち止まらずに最後まで操作でき、授業における利用シーンを想起いただくことを狙いとしております。

▶ また、ICT機器に関して特定の先生のみが利用するケースが散見されますが、本取組を通じ、可能な限り多くの先生がスクールタクトに触れる機会を増やすことで、先生相互間で実践内容を共有しながら、学校全体としてICT機器の利活用活性化の一助となれば幸いです。

▶ 本取組が有効に機能するよう、以下の2つのステップを想定しています。

- 学校におけるICTの利活用を進めているご担当者様の皆さまに、「これならできる！スクールタクト校内研修のはじめかた」の内容をご理解いただき、校内での研修概要を固める
- ICTご担当者主催の下、校内研修を実施いただき、受講対象の先生が研修の途中で操作に迷うことなく最後まで使い切る体験を提供する

▶ まずはICTご担当者にご確認いただくことになると思います。本書は本編を「知識編」「事前準備編」「生徒アカウント体験編」「先生アカウント体験編」に分け、順番にお読みいただくことで総括的な知識を得られる構成となっております。全体に目を通していただくことをおすすめいたします。

▶ ご参照･ご確認の過程で何かございましたら、下記お問い合わせ先よりお気軽にご連絡ください。
https://qr.paps.jp/xQlR

目次

まえがき …… 2

スクールタクトについて …… 3

この本の目的について …… 4

知識編

第1章 スクールタクトを知ろう　8

レッスン 1 スクールタクトの特徴を知ろう …… 8

第2章 研修を始める前に検討しよう　10

レッスン 2 研修内容を決めよう …… 10

レッスン 3 GIGAスクール版について知ろう …… 12

レッスン 4 アカウントを作成しよう …… 14

レッスン 5 研修で必要なものを準備しよう …… 18

事前準備編

第3章 研修準備をしよう　22

レッスン 6 準備するものをチェックしよう …… 22

レッスン 7 授業を作成しよう …… 24

レッスン 8 受講生を割り当てよう …… 26

レッスン 9 単元を作成しよう …… 28

レッスン 10 課題を作成しよう …… 30

レッスン 11 研修アンケート（振り返り）を作成しよう …… 32

生徒アカウント体験編

第4章 参加者にログインしてもらおう 36

レッスン 12 参加者にログインしてもらおう …… 36

第5章 模擬授業（基本操作）をしよう 38

レッスン 13 研修用課題を配布しよう …… 38

レッスン 14 ツールを説明しよう …… 42

レッスン 15 課題を解いてもらおう …… 46

レッスン 16 採点について説明しよう …… 50

第6章 模擬授業（協働学習）をしよう 52

レッスン 17 協働学習用の研修課題を配布しよう …… 52

レッスン 18 受講者同士で回答を見よう …… 54

レッスン 19 コメントをしてみよう …… 58

レッスン 20 ワードクラウドを使おう …… 60

レッスン 21 発言マップをみてみよう …… 62

第7章 研修のアンケートをとろう 64

レッスン 22 研修アンケート（振り返り）をとろう …… 64

先生アカウント体験編

第8章 参加者に授業準備をしてもらおう 68

レッスン 23 授業枠を作成しよう …… 68

レッスン 24 課題を作成しよう …… 70

第9章 参加者に授業してもらおう 74

レッスン 25 相互に授業をしてみよう …… 74

レッスン 26 グループ毎に模擬授業をしよう …… 76

第10章 課題テンプレートを保存しよう 80

レッスン 27 課題テンプレートの作成 …… 80

Q&A …… 82

機能紹介 …… 85

知識編

レッスン
1

スクールタクトの特徴を知ろう

本書で紹介するスクールタクトの特徴について、本レッスンで解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

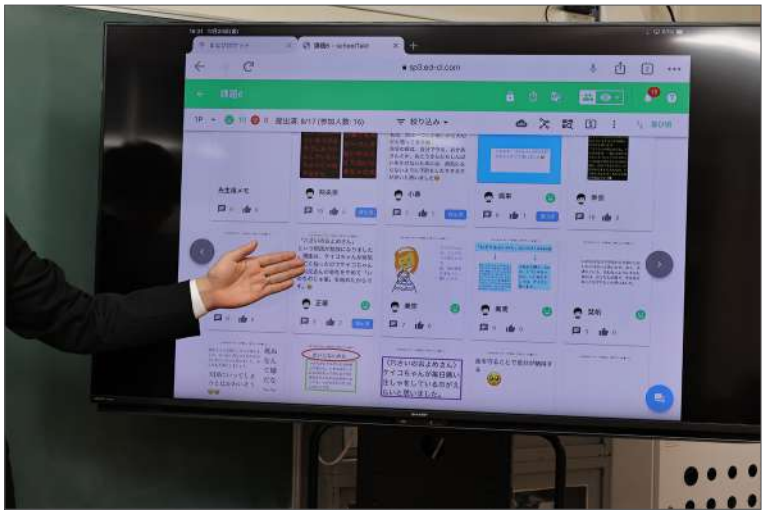
- □ インターネットに繋がる端末があれば、どこでも利用できる
- □ 読み込み操作、保存の操作不要でサクサク使える
- □ 困ったときの質問サポートをスクールタクト上で受けられる

まずは以下の動画をご覧ください

https://bit.ly/2UhK0iX

ブラウザだけでアクティブラーニング

スクールタクトは、インストール不要でマルチ OS 対応の事業支援クラウドです。
手早く柔軟に素材づくりができ、作成した教材を先生同士で共有したりテンプレートから教材を選んだり、画像や動画を教材にしたりすることもできます。



操作説明動画の視聴 (約 10 分)

メモ

このアニメ動画をみることで、スクールタクトでできることがわかります。
スクールタクトの利活用のヒントは、以下のwebでも確認できます。

- **BANSHOT（授業事例集）**
  https://qr.paps.jp/v0sp
- **導入事例**
  https://qr.paps.jp/mTHne

研修を担当する先生の事前準備

8 ページ「まずは以下の動画をご覧ください」に記載してあるリンク先にある動画 (約 10 分) を視聴しましょう。
本書で紹介する研修内容とほぼ同じ流れを確認できます。研修する先生と受講する先生の画面を並べて見られるため、研修の具体的なイメージを持つことができます。

他の先生と一緒に試す (約 5 ～ 15 分)

本書に記載されている研修内容を、校内の他の先生 1 ～ 2 名と一緒に試しにやってみましょう。試す内容は、全てではなくても構いません。本書の各レッスンの内容は、一つあたり 1 分から 3 分以内に行えるものがほとんどです。

スクールタクトの YouTube チャンネルを開く (約 10 ～ 60 分)

スクールタクトの YouTube チャンネルには、操作解説動画の他に、オンラインセミナーの動画も登録されています。基本操作や教材作成の方法を 10 分程度の長さで説明しているため、移動時間や空き時間で視聴できます。

メモ

スクールタクトを授業で使う様子の動画を、以下のリンク先で視聴できます。

①スクールタクト学び合いチャンネル
https://bit.ly/2UygjKd

②小学校
福島県相馬郡新地町
https://bit.ly/2SYzIJA

③中学校
長野県伊那市
https://bit.ly/36ibxDq

写真提供協力校のご紹介

学校法人山本学園　惺山高等学校 様
2021 年度に創立 100 年を迎えると共に 2022 年度より山本学園高等学校から惺山高等学校に名称変更され、新たな教育実践を HP で発信されています。
https://www.yamamotogakuen-h.ed.jp/

レッスン
2 研修内容を決めよう

校内研修と併せて、コードタクト社主催のオンラインセミナーを活用しましょう。
本レッスンでは、二択のチャートを利用して、今できる研修内容を整理します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ オンラインセミナーは 60 分、聴講も可能。
- □ 解説動画は 10 分、繰り返し視聴可能。
- □ オンラインとオフラインの研修を組み合わせて、内容を補完するのがおすすめ。

研修担当者が今できること		研修担当者が今からすべきこと
30 分以上の研修会を実施できる	→ いいえ	スクールタクトの使い方 基本編を教員方に配布（10 分程度）
↓ はい		
研修担当者がスクールタクトの研修準備ができる	→ いいえ	コードタクトのオンライン研修会に教員皆様で参加 or 動画（60 分程度）
↓ はい		
30～45 分 x2 回程度の研修会を実施できる	→ いいえ	生徒アカウント体験編（30～45 分）のみ実施 ※基本編の動画もご覧ください
↓ はい		さらに知りたい人は 活用ライブラリへ
生徒アカウント体験編（45 分）と先生アカウント体験編（45 分）を実施		スクールタクト 活用ライブラリ https://qr.paps.jp/49TiF

メモ

事前に研修担当の先生と相談の上、年間の研修計画や長期休暇中の研修テーマに組み込めると効果的です。

プラスワン

オンラインセミナーを活用しよう

セミナーは、テーマを基本編と応用編に分けて実施しています。同じ内容を扱うこともあるため、近い日程で参加できない場合は、少し先の日程へ申し込むこともできます。

●スクールタクト・オンラインセミナーとは

スクールタクトを開発するコードタクト社が、毎週開催している研修会です。以下のテーマで、1 回あたり 60 分となります。
・はじめての教材作成 (国語・算数・数学・英語・理科・社会・図工・美術・総合的な学習・学級活動)

●明日から使えるスクールタクト (初級者編･中級者編)

これまでに取り上げたテーマ

中学高校での活用編
どうしてる？情報モラル
オンライン授業のはじめかた他多数

定期的に行っている無料セミナーの開催情報等を確認して、一度受講することをお勧めいたします。

今すぐセミナーに申し込む

https://qr.paps.jp/zOYr8

写真提供協力校のご紹介

柳津町立柳津小学校 様
地域連携された授業の様子やICT授業について複数の授業支援ソフトを使った授業実践などをHPに掲載されています。
https://qr.paps.jp/KQ80A

写真提供協力校のご紹介

クラーク記念国際高等学校 様
「Boys, Be Ambitious」の言葉で知られるクラーク博士の精神を教育理念とし、全国で教育を展開。好きなこと・やりたいことをトコトン学べる多彩な特化型コースが充実。今回はパフォーマンスコースの生徒がモデルで出演。
https://www.clark.ed.jp/

レッスン
3

GIGAスクール版について知ろう

スクールタクトには通常版の他に、GIGAスクール版が存在しています。本レッスンでは、それぞれの違いについて解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ スクールタクトには、通常版とGIGAスクール版がある。
- □ GIGAスクール版は、共同編集や学習記録に関する機能の利用に制限がある。

機能比較

主要機能	GIGAスクール版	通常版
課題作成数	無制限	無制限
表示課題数 (CSV、ポートフォリオ含む)	直近6ヶ月間の課題を表示	無制限
課題テンプレート	すべてのテンプレート	すべてのテンプレート
動く課題の作成	✓	✓
児童・生徒同士の 回答閲覧・編集	共同閲覧のみ	共同閲覧・編集
リアルタイム回答一覧	✓	✓
コメントいいね機能	✓	✓
数式入力	✓	✓
回答比較・並び替え	✓	✓
投票機能	✓	✓
プレゼンテーション	✓	✓
WEB画像検索	⊘	✓
タイマー	⊘	✓
ロック	✓	✓
採点	✓	✓
ファイル共有	メンバーごと100MB	メンバーごと4GB
発言マップ	⊘	✓
ルーブリック評価	⊘	✓
ワードクラウド	⊘	✓

GIGA スクール版とは

NTT コミュニケーションズ株式会社の提供する、まなびポケットの GIGA スクールパックに含まれているスクールタクトは、GIGA スクール版となります。
12 ページに記載された表に、通常版と GIGA スクールパック版とで使える機能の比較を記載しています。GIGA スクール版では主に、以下の機能に利用制限がかかります。

▽ 利用できない機能

・共同編集機能
・タイマー機能
・発言マップ
・ルーブリック評価
・ワードクラウド

▽ 一部制限のある機能

・ポートフォリオ (直近 6 ヶ月分の課題を閲覧可能)
・ファイル共有 (1 人 100MB まで利用可能)

GIGA スクール版でも、共同閲覧機能やコメント機能等は、通常版と同じようにご利用いただけます。

COLUMN

先生方を手厚くサポート！活用ライブラリを開こう

スクールタクトの活用ライブラリには、利活用を考える先生たちのヒントが掲載されています。

掲載内容

・授業実践動画集 (操作解説・授業スタイル別・授業展開別)
・教科別実践事例記事 (小学校・中学校・高等学校)
・今月のピックアップ課題テンプレート

活用ライブラリからは、本書の PDF データや、紹介されている授業実践の指導案をダウンロードできます。
明日の授業づくりのために、活用ライブラリの記事を定期的に見てみるのがおすすめです。
活用ライブラリは、コラム内に掲載した QR コードを読み込むと開けるようになっています。校内の先生方と一緒に見ながら、明日の授業づくりのヒントを探しましょう。

スクールタクト活用ライブラリ ▶
https://qr.paps.jp/49TiF

レッスン
4

アカウントを作成しよう

先生や児童生徒がスクールタクトを使い始める前に、アカウントを作成する必要があります。本レッスンでは、アカウントの作成方法を解説します。
※シングルサインオン版をご利用の場合、本レッスンで解説する作業は発生しません。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ CSVファイルを利用してアカウントをまとめて作成できる
- □ 最初にアカウントを作成する際に使うのは、雛形CSVファイル
- □ CSVファイルの更新は、ドラッグ＆ドロップでできる

1 雛形 CSV ファイルをダウンロードする

新規で一括登録する際は、管理者メニューから雛型 CSV ファイルをダウンロードします。

1 管理者アカウントでログインし、「全アカウント」を選択

2 「+」を選択

3 [↑]を選択

注意

管理者アカウントの確認

- 管理者アカウントは、当社が発行するアカウント発行通知書に記載されています。

年次更新について

- 新年度には、入学や卒業、進級があるため年度更新が必要です。こちらのマニュアルを参照してください。
  https://qr.paps.jp/ciyBU

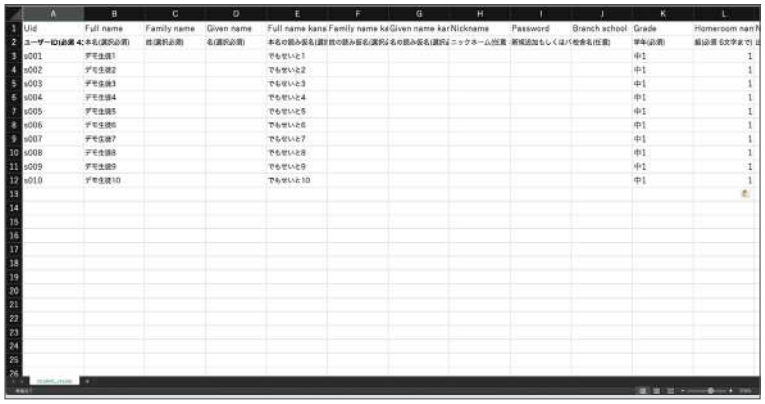
プラスワン

通常版の登録 ID を工夫しよう

- 児童生徒 ID は、卒業時まで同じものを使います。そのため、学年が上がっても変わらない固有の文字列を ID にするのがポイントです。
  例：21a0001（西暦下 2 桁 + 学籍番号）
- 先生 ID とパスワードは、児童生徒が推測できないものを設定しましょう。

4 「雛型CSVをダウンロード」を選択

5 ダウンロードしたCSVファイルに、必要事項を記入



6 「CSVをアップロード」を選択

CSV ファイルをドラッグ & ドロップしてもアップロードできます。

メモ

通常版をご利用の場合は、管理者アカウントより先生・児童生徒アカウントを作成してください。詳しくはこちらのマニュアルを御覧ください。
https://qr.paps.jp/ZRDoM

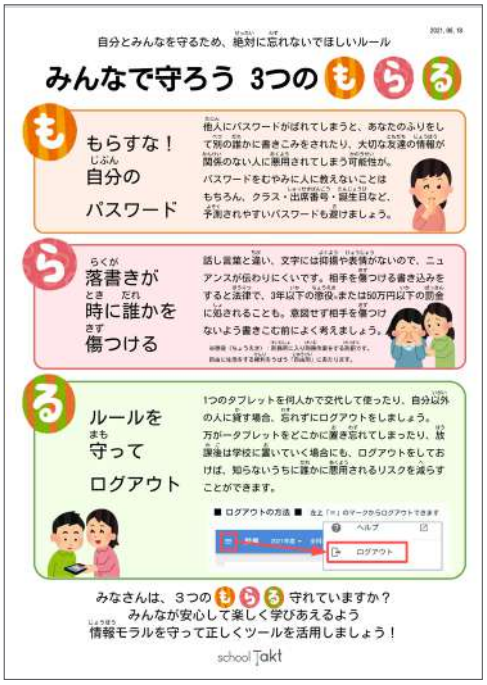
アップロードが完了すると、登録されたアカウントが表示されている画面へ遷移します。

COLUMN
IDとパスワードの管理を慎重に

先生と児童生徒のIDとパスワードは、とても大切な情報です。先生や児童生徒に向けてIDとパスワードを配布した後の管理については、校内で以下のようにルールを予め決めた上で、慎重に行いましょう。

<例>
・漏洩防止のために、IDとパスワードを書いた付箋を端末に貼り付けない。
・自分以外にIDとパスワードを教えない。

また、IDとパスワードに設定する文字列はできる限り長く、記号や英数字を組み合わせた複雑なものに することも重要です。コードタクトでは、学校内の情報モラル向上を目的として、資料を作成しました。 この資料を先生や児童生徒へ向けて配ることで、情報管理の大切さを改めて伝えることができます。



COLUMN

授業の様子

スクールタクトで提示した資料データに書き込みながら授業進行

対話とスクールタクトで考えを共有

レッスン
5 研修で必要なものを準備しよう

スクールタクトの校内研修を行うために、必要なものを確認します。
本レッスンでは、使用する機器やネットワークの確認のポイントを解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 先生アカウントが作成されていることを、事前に確認する
- □ 学校のネットワークでスクールタクトを操作できることを確認する
- □ 実際に研修を行う時間帯に、速度テストを行っておくとより安心

1 PC またはタブレット

スクールタクトを使うための PC またはタブレットを用意します。

推奨ブラウザ

OS	ブラウザ
Windows 10	Microsoft Edge・Google Chrome
Mac OS X 10.11 以降	Safari・Google Chrome
iOS/iPad OS（iPad 第 4 世代以降）	Safari（iOS 版）・Google Chrome
Android（Android 8.0.0 以降）	Google Chrome
Chromebook（Chrome OS）	Google Chrome

2 アカウント

研修で使用する人数分のアカウントを用意します。

注意

- インターネット回線のつながる部屋で研修を実施してください。
- 1人1台端末を準備してください。
- 必要に応じて、研修担当者の端末画面を映す大型モニター、またはプロジェクターをご準備ください。
- 対応ブラウザ
  https://qr.paps.jp/UOrZY
- 推奨ネットスピード
  https://qr.paps.jp/VcwKF

プラスワン
指示用のツールが便利

指示棒やレーザーポインターがあるとボタンを指定したいときなどに便利です。

3 ネットワーク環境

PC またはタブレットがインターネットに接続できるようにします。

スクールタクトの操作にかかる通信量

キャンバス上に文字を書く、または図形を動かすのに必要な通信量は約 1KB です。画面全体ではなく、変更した部分のみの情報をリアルタイムで反映させるため、非常に少ないデータ量で使用できます。

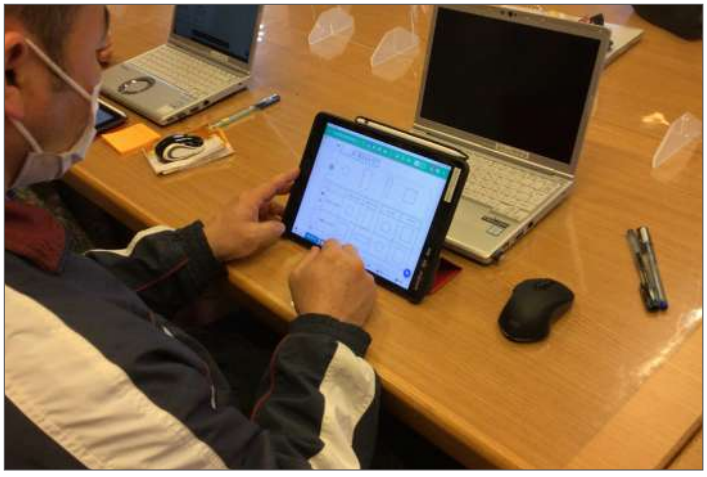
最低推奨通信速度

スクールタクト利用における 1 名あたりの最低推奨通信速度は 2Mbps です。100Mbps の通信速度があれば、計算上 50 ～ 100 名の同時使用が可能です。参考値として、一般的なスマートフォンでの下り通信速度は 200Mbps 程度です。

4 そのほか

必要に応じて以下のものをご用意ください。

- プロジェクターまたは大型モニター
- マニュアル（本書）
- マイク及びスピーカー
- レーザーポインターや指示棒



メモ

1ヶ月あたりの目安通信量
1授業（45分）における1人あたりの通信量は約 4MB ～なので、1台あたりの1ヶ月の授業目安通信量＝ 1日5授業x20日＝0.4GB/台でご利用頂けます。
数値はあくまで目安であり、利用状況によって通信量は変動します。

※上記目安通信量の算出条件は、課題テンプレート3枚 回答/提出（文字描画・図形移動・コメント書込）です。
※添付写真等が増えれば、そのデータ分の通信量は増加します（例:1枚5MB の写真を貼ると、5MB 通信量が増えます）。

写真提供協力校のご紹介

啓明学園初等学校 様
ICT活用された授業をはじめ、日頃の授業や公開授業の様子など、様々な取り組みの成果をHPに掲載されています。
https://www.keimei.ac.jp/primary/

MEMO

事前準備編

レッスン

6 準備するものをチェックしよう

校内研修を行う前に準備するものについて確認することが、よりよい研修につながります。本レッスンでは、スクールタクトの校内研修における準備の概要を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ スクールタクト上の準備物は4つだけ
- □ 先生アカウントを授業の受講生として登録できる
- □ 作成した課題を配布せずに保存できる

チェック項目

スクールタクト内の準備

- □ 研修用の授業枠を作成する（レッスン７）
- □ 授業枠に、先生アカウントを受講生として割り当てる（レッスン８）
- □ 研修用の単元を、授業枠の中に作成する（レッスン 9）
- □ 研修用の課題を、単元の中に作成する（レッスン 10）
- □ 研修アンケートを、単元の中に作成する（レッスン 11）

研修環境の準備

- □ 端末と大型投影装置との接続を確認する
- □ 研修実施時間帯の回線速度テストを行う
- □（必要に応じて）マイクやスピーカー等の音響を確認する
- □（必要に応じて）当日の座席配置を検討する

研修参加者に向けた準備

- □ 研修日時と場所を伝える
- □ 研修の持参物を伝える
- □（必要に応じて）スクールタクトのログイン URL を伝える
- □（必要に応じて）スクールタクトの ID と初期パスワードを伝える

メモ

- 本冊子のレッスン7から11までの準備を行うのにかかる時間は、1レッスンあたり1分から5分程度となります。また、作成した授業枠や課題はその場で保存されます。
- ちょっとした空き時間で、少しずつ準備を進めるのがおすすめです。

COLUMN

実践事例紹介 ～ 仙台育英学園高等学校秀光コース・秀光中学校 ～

● 英文和訳グループワーク

異なる意見を受け入れ、多角的な視点を育てる

英文和訳をグループワークで行います。生徒は、辞書やテキスト、ウェブサイトを用いてお互いに相談しながら和訳を進め、他グループに添削をしてもらいます。端末はグループに1台として協働学習機能を活用して行いました。自分のグループの和訳を終えたら、共同閲覧モードで他グループの和訳の添削を行う流れとしました。グループ活動とすることで個人への指摘となることを防ぐことができ、率直な意見が出て課題に深く向き合うことができました。

● スクールタクトの導入効果

他のグループの解答をリアルタイムに見てコメントできるので、生徒が移動したりクラス全体に対する発言をしなくても、気軽に意見交換を行うことができました。また、授業を通じて、自分の意見を論理的に発信する力や異なる意見を受け入れる力がつき、多角的な視点を持てるようになったと感じます。ICTを活用することで文章の内容に関しインターネットで検索した情報を補足するなど、教科の枠を超えた興味や理解へと結びつけることができたと感じます。

詳細はこちらからご覧いただけます▼

https://qr.paps.jp/ok05G

※ 記載した事例記事は高校のものです

レッスン

7 授業を作成しよう

授業枠を作成することで、研修で使用する課題を保存できるようになります。本レッスンでは、授業枠の作成手順を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 授業枠の作成は、最短で4回クリックすれば完了
- □ 研修のタイトルを授業枠に入力できる

1 授業新規作成を開始する

注意

学年とクラスの設定

研修で作成する授業枠の学年とクラスは、それぞれ全学年、誰でも受講を選択しましょう。

作成したクラスには、先生だけを受講生として紐付けることができます。

研修準備で授業枠を作成する際に具体的な学年とクラス（例：小6・1組）を選択すると、当該のクラスに紐づく児童生徒が研修の受講生として登録されてしまうため、注意しましょう。

学年クラスの概念については、以下を参照してください。

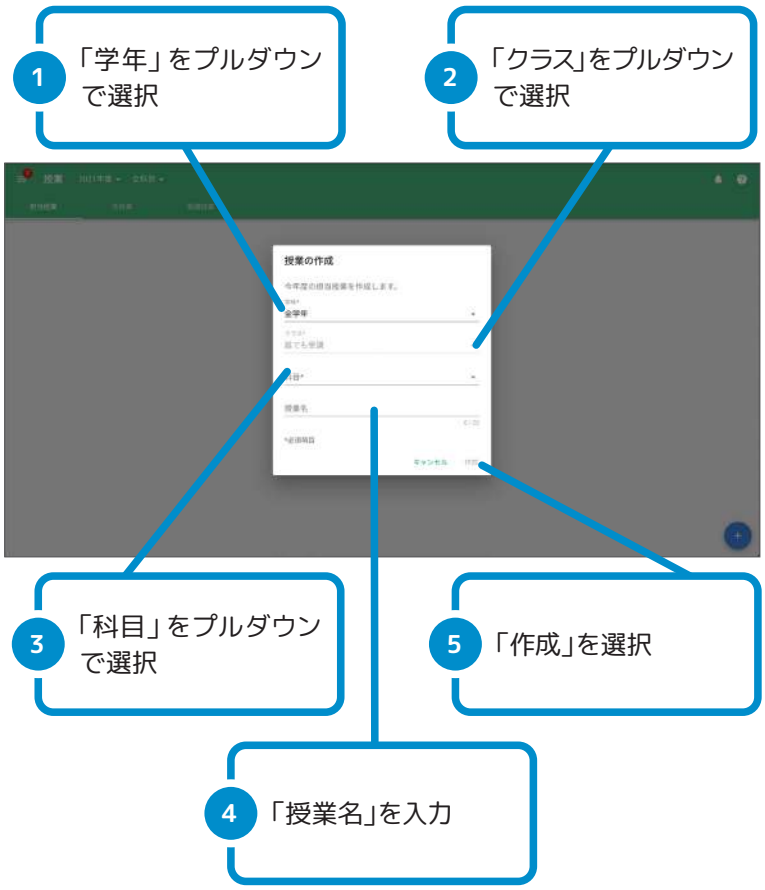
https://qr.paps.jp/s2K2

プラスワン

「授業」とは

- 授業は、生徒との課題を共有するフォルダのようなイメージです。
- 授業名は後から変更することができます。
  ＜例＞選択授業 / 部活動 等

2 項目を選択する



メモ

- 授業は、児童生徒と課題を共有するフォルダのようなイメージです。
- 授業名は後から変更することができます。例：選択授業／部活動等
- 授業に参加する児童生徒が、所属クラスをまたいでいる場合（選択授業等）は、［誰でも受講］の設定で授業枠を作成します。

メモ

- 入力した授業名は、後から変更できます。
  https://qr.paps.jp/JrKXw

レッスン

8 受講生を割り当てよう

作成した授業枠に、研修受講者を割り当てます。本レッスンでは、先生アカウントを受講生登録する手順を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 受講生は、最大 100 名までまとめて登録できる
- □ 受講生の登録や解除ができる

1 受講生の割り当てを開始する

2 受講生を選択する

通常は追加する生徒の横にチェックマークを付けて受講生を選択します。

今回は研修用に、先生を受講生として登録します。

注意

受講コードを児童生徒に知られない

通常、受講生は生徒一覧から選択しますが、今回の研修では、教員は先生アカウントのまま生徒として授業に参加する方法を紹介します。

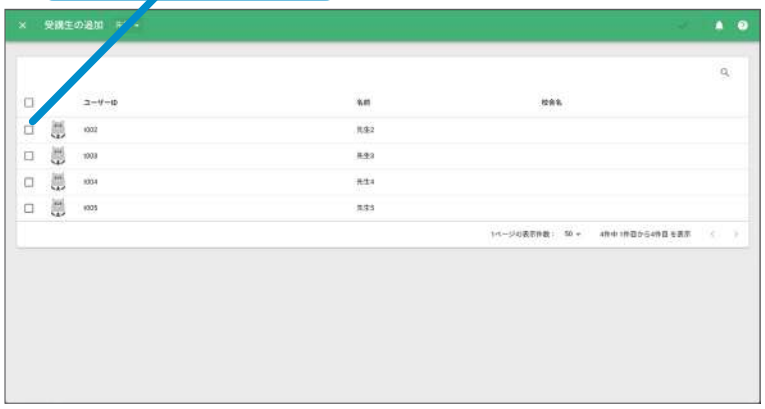
研修で使用した受講コードを児童生徒が入力すると、その授業に受講生として登録されてしまいます。

研修内容を児童生徒に見られたくない場合には、受講コードが児童生徒に知られないよう、注意しましょう。

万が一、児童生徒が受講生として登録された場合、その授業を担当する先生が後から任意に登録解除することができます。

https://qr.paps.jp/vMv

3 登録したい受講者のチェックボックスにチェックを入れる



4 [✓]を選択する

受講生が登録できました。

メモ

受講生追加画面の左上□にチェックを入れることで、一括で受講生を追加することができます。

メモ

登録した受講生を授業から外したり、再度登録したりできます。

レッスン

9 単元を作成しよう

研修用の授業枠の中に、研修用の課題を保存する単元を作成します。本レッスンでは、単元の作成と名称の入力手順を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

□ 単元は、課題を保存するフォルダの役割を持つ

1 単元の作成を開始する

2 単元名を入力して単元を作成する

メモ

単元は授業の中にある小さなフォルダのようなものです。単元ごと月ごとなど、管理しやすい名前を入力しましょう。
< 例 > 4 月の宿題 / 地層 等

プラスワン

単元の追加

単元を追加したい場合は、下の青いバーの＋ボタンをクリックして作成することができます。

3 単元名を変更する

必要に応じて単元名を変更することができます。

メモ

作成した単元の表示される位置を、任意の場所に変更できます。
https://qr.paps.jp/kHsY3

レッスン

10 課題を作成しよう

単元の中に、研修用の課題を作成します。本レッスンでは、研修用のテンプレートを使用して行う課題準備の手順を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 課題は、白紙と課題テンプレートの 2 種類から選んで作成できる
- □ 研修用の課題テンプレートを自作して保存できる

1 課題の作成を開始する

注意

学年と科目の選択について

課題テンプレートの検索画面は、授業枠の学年・科目に連動しています。
研修用のテンプレートを検索する際には、「全学年」「全科目」が選ばれていることを確認してください。
また、虫眼鏡ボタンを選択して「研修」と入力することで、研修で使うテンプレートをより見つけやすくなります。

プラスワン

テンプレートは自作できる

課題テンプレートは自作して、校内で共有することができます。
< 例 > 小テストのプリントをテンプレート化して配布　等
ヘルプ参照：
https://qr.paps.jp/KyfjC

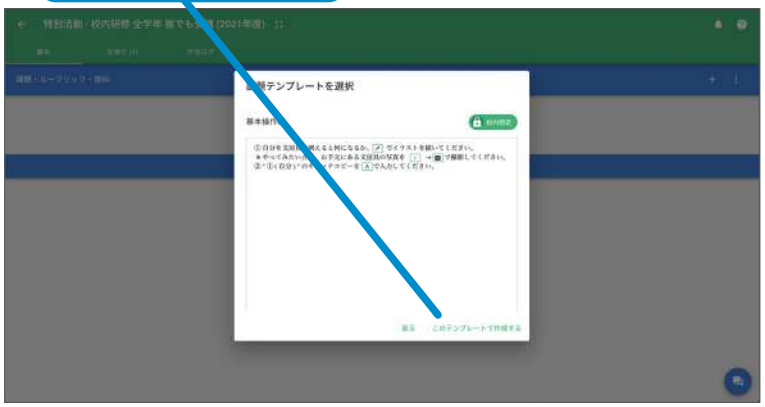
2 課題テンプレートを選ぶ

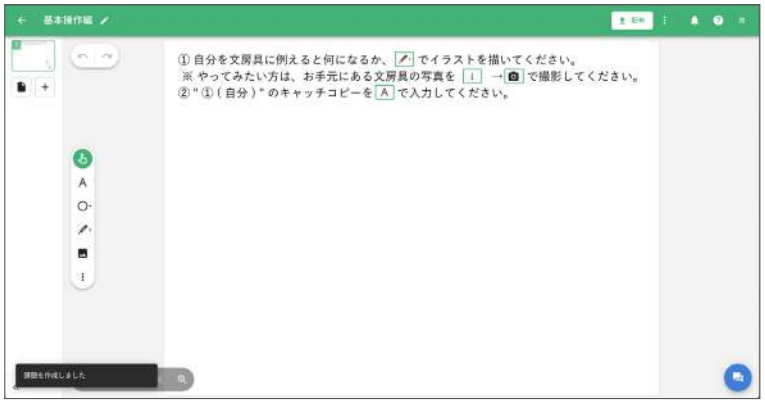
1 プルダウンで左から順に「全学年」「全科目」「全て」を選択

2 「研修」と入力して検索

3 「このテンプレートで作成する」を選択

4 「このテンプレートで作成する」を選択





課題の作成が完了しました。

メモ

課題の配布は、研修当日に行います。

プラスワン

テンプレートを新規に作成

研修用テンプレートとは異なる課題を配布したい場合は、白紙を選択してから、課題内容を作成します。

レッスン

11 研修アンケート（振り返り）を作成しよう

単元の中に、研修アンケートを作成します。本レッスンでは、白紙のアンケート用紙の作成手順を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

□ アンケートは、学校指定の書式を取り込んで作成できる

1 課題の作成を開始する

注意

学年と科目の選択について

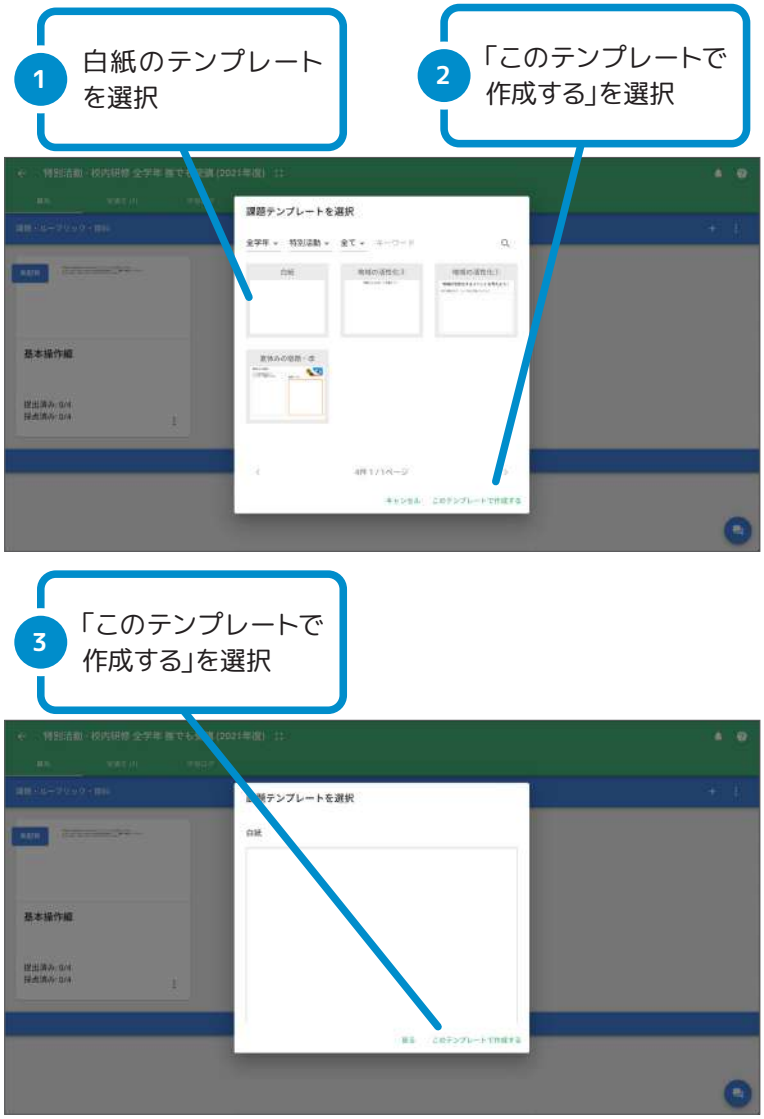
作った課題は、単元ごとに移動することが可能です。単元毎に課題を整理することで、管理しやすくなります。

プラスワン

ルーブリックの活用

- ルーブリック評価をアンケートとして活用することもできます。
  ヘルプ参照：
  https://qr.paps.jp/24RMr
- GIGA スクール版ではルーブリック機能はご利用いただけません。

2 白紙の課題テンプレートを選ぶ



白紙の課題が作成されました。

メモ

課題の配布は、研修当日に行います。

プラスワン

テンプレートを新規に作成

学校や自治体指定のアンケートを使用したい場合は、アンケートのファイルをPDFに変換することで、キャンバス画面に取り込むことができます。

https://qr.paps.jp/oHQw0

COLUMN

校内研修の学びを深める授業チャットの活用術

授業チャットでクラス全体へメッセージを送る

授業チャット機能を使うと、授業に参加している全員に向けてメッセージやファイル、リンクを送ることができます。また、返信元のコメントを一部引用して返信することができます。コメントは、先生だけが書き込める設定と、授業に参加する全員が書き込める設定のいずれかを先生が選択できます。送られたコメントは、投稿した本人か先生かのいずれかが削除しない限り、残り続けます。

例えば、次の授業までの宿題範囲を書き込んだり、あらかじめ見てほしい動画のリンクを児童生徒へ送ったりして活用します。この機能を研修時に利用すると、校内研修における理解がさらに深まります。

回答一覧画面に表示した授業チャット

南京錠ボタンを選択し、先生だけがコメントできるように設定

授業チャットで研修中の質問を共有する

研修中にその場で質問をして解決することももちろん大切ですが、急な校務等で欠席した先生と、当日出た質問と回答をシェアすることが難しい場合もあります。また、研修中に質問したいことが浮かんでも、質疑応答の時間で質問することをうっかり忘れて聞けないということも、あるかもしれません。

研修中に浮かんだ質問をその場で授業チャットに書き込むとコメントが残るので、欠席した先生が後から質問内容を確認できます。また、うっかり聞き忘れるということもなくなります。

キャンバス画面を開いても授業チャットは表示される

一つのシステム上でコメントできるのが魅力

スクールタクトは、先生と児童生徒が学習活動をしながら、授業チャットを使ってクラス全体へメッセージを送ることができます。複数のシステムを併用することなく、スクールタクトの中でやり取りをまとめられるため、迷うことなく学習活動を行えます。

発話することが苦手な児童生徒も授業チャットで気づきを共有

生徒アカウント体験編

レッスン

12 参加者にログインしてもらおう

研修受講者がスクールタクトにログインし、研修を開始します。
本レッスンでは、研修受講者がスクールタクトへスムーズにログインするためのポイントを解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

□ URL と ID 、パスワードは半角で入力する
□ グループ ID の入力を求められたら、正しいサブドメインを入力する

1 URL とアカウント・パスワードを伝える

研修対象の先生方に、以下の情報を伝達します。伝達の仕方は、黒板に書く、コピー（紙）を配る、などの方法があります。

- 契約時に発行された URL
- グループ ID
- ユーザー ID
- パスワード

2 実際にログインしてもらう

本ページの研修ポイントや注意、メモを参考にしながら進めましょう。また、受講者全員のログイン完了までに時間がかかると思われる場合は、事前にログインしてから研修に参加するように伝えておくのもおすすめです。
右記の研修ポイントや注意、メモを参考にしながら、受講者へログインを促しましょう。

研修ポイント

- ログインする際には、ID とパスワードを半角英数字で入力するよう伝えます。
- 担当授業、全授業、受講授業タブの中から受講授業を選択してもらいます。担当授業は、先生として授業を作る際に使うことを説明をします。

注意

グループ ID の入力を求められたら

受講者が https://***.schooltakt.com/ の *** （以下、サブドメイン）部分を誤って入力すると、グループ ID の入力欄がログイン画面に追加されます。
その場合は、サブドメイン部分に記載された文字列をグループ ID の入力欄へ入力するよう、伝えてください。

先生と生徒のアカウントの違いについて

画面の上部のバーは、先生アカウントでは緑色に、生徒アカウントでは青色になります。
本書（先生向けの研修）では全員先生アカウントでログインしているので、バーの色は緑になります。

メモ

アカウントは事前に紙に記入の上配布したり、黒板に書くなどして共有しておきましょう。
ログイン画面の QR コードを作成して、配布してもよいでしょう。

プラスワン

QR コードを活用しよう

ログイン URL のQRコードを作成して、投影資料に加えたり、印刷して配布したりすると、ログインがよりスムーズになります。

COLUMN これで解決！ログイン時によく出る質問と回答集

Q.URLはどこに入力すればよいですか？
A.ブラウザのアドレスバー（画面上部の枠の中）に入力しましょう。

Q.キーボードの半角英数とローマ字入力を切り替えられません。（主にiPad）
A.キーボードの左下に表示されている地球マークを選択して切り替えましょう。

Q.ログインはできたものの、誤ってタブを閉じてしまった。
A.URLを再度入力してください。

Q.自分のIDとパスワードがわからない。
A.スクールタクトを管理している先生に確認してください。

レッスン

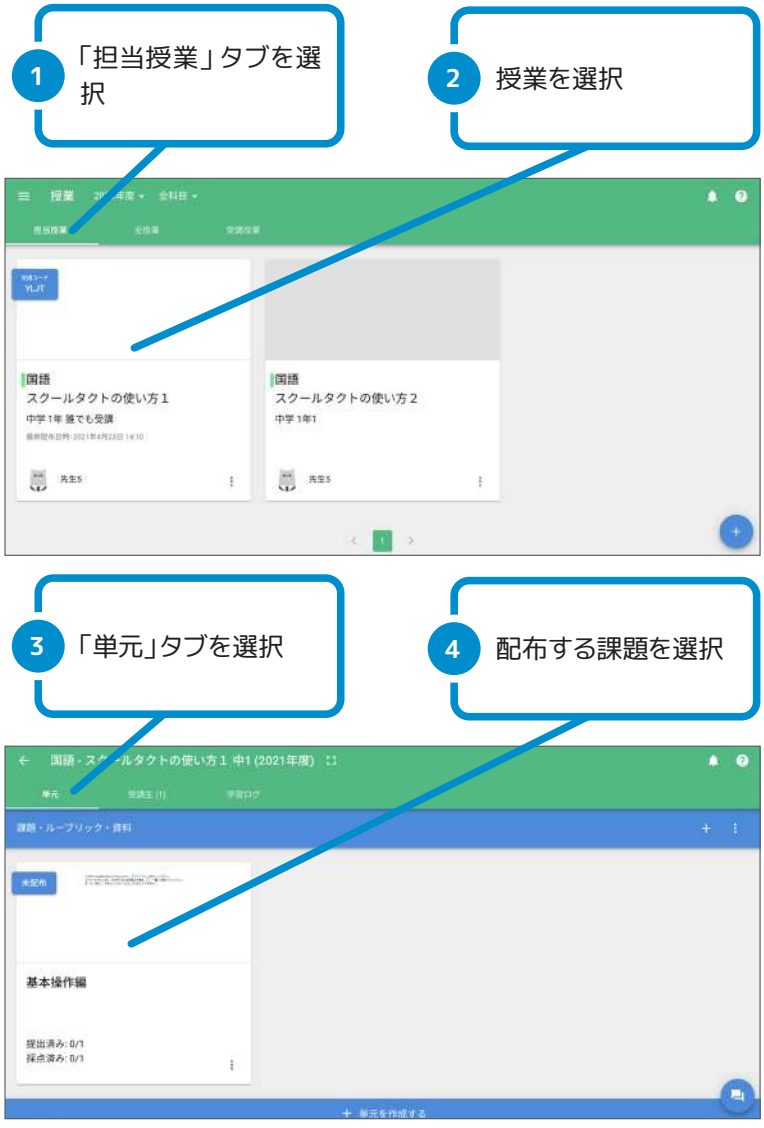
13 研修用課題を配布しよう

研修受講者に向けて、研修担当者が課題を配布します。
本レッスンでは、課題の配布と、研修受講者から実際に挙がる質問内容について解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 配布した課題を開くと、先生側の回答一覧画面に受講者の氏名が表示される
- □ 配布した課題を差し戻すことはできない

1 課題の配布を開始する



研修ポイント

- 授業は大きなフォルダ、単元は小さなフォルダ、課題は児童生徒に配布するワークシートであることの説明をします。
- 児童生徒が課題を開くと、先生画面にリアルタイムで児童生徒の開封状況が反映されるので、シートの印刷や、児童生徒の紛失などの管理の手間が省けます。

注意

配られる前の課題は非表示

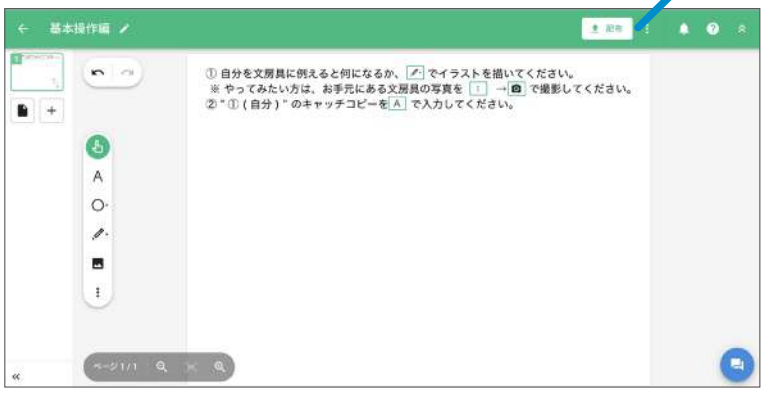
受講者側の単元内には、配布される前の課題は表示されません。

課題の差し戻しはできない

受講者へ向けて一度配布した課題を、後から差し戻すことはできません。

2 課題を配布する

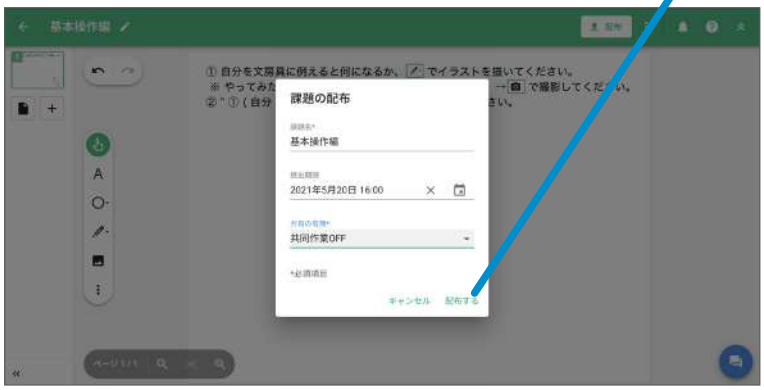
1 [配布]を選択



2 提出期限を画面の指示に従って設定

3 共同作業のON/OFFを選択

4 [配布する]を選択



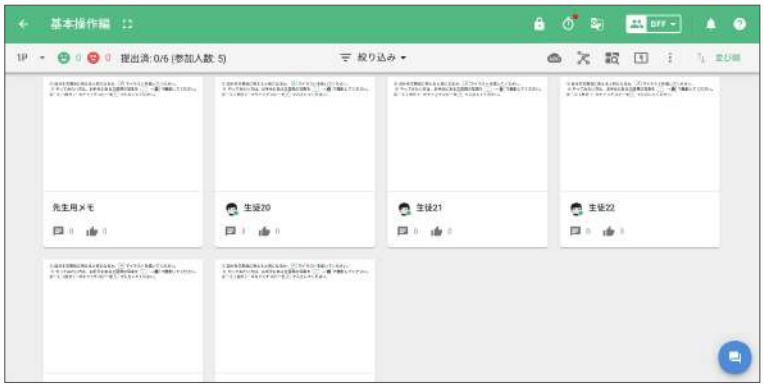
プラスワン

提出期限を設定する

配布課題に提出期限を設定できます。また、提出された日時を一覧で確認することも可能です。

課題配布後の先生画面

受講者が課題を開くと、先生側の回答一覧画面に受講者の名前が表示されます。



COLUMN
解決！プリント渡した・渡されていない問題

●先生、そのプリント、私もらっていません！

間違いなく渡しているはずの配布物が児童生徒の手元で行方不明になることは、先生なら誰もが経験したことがあるはず。その後、プリントを取りに職員室へ戻ると在庫が切れていて印刷室へ。そういう時に限って印刷室は混んでいて、なかなか印刷できないということも。

ちょっとしたことですが、積み重なると他の業務時間を圧迫してしまう原因にもなります。

●回答一覧画面で配布状況をチェック

スクールタクトの回答一覧画面には、配られた課題を開いた児童生徒の名前が表示されます。先生が回答一覧画面を見ると、課題を開いていない児童生徒がいないか、確認することができます。課題を開いていない児童生徒には先生から声がけすることで、課題の配布漏れや紛失と、それに伴って生じる印刷等の業務を減らせます。

COLUMN

実践事例紹介～新地町立駒ヶ嶺小学校～

オンライン作品鑑賞会で鑑賞の「質」と「量」を高める

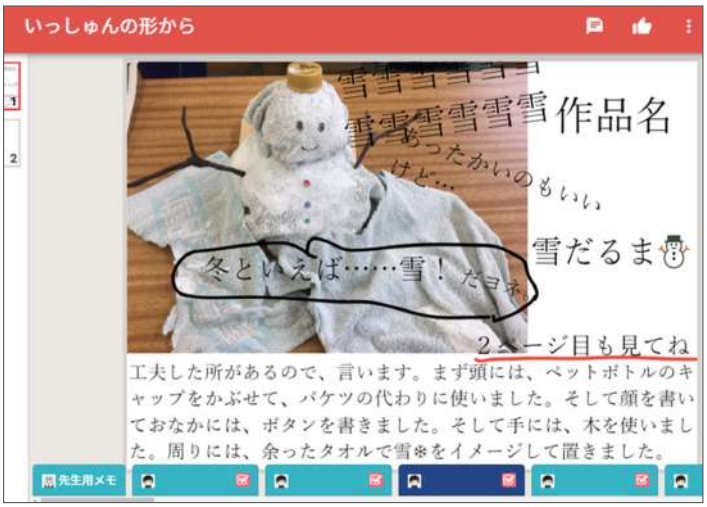
図画工作「いっしゅんの形から」という単元において、児童が制作した作品の鑑賞会を行う場面でスクールタクトを活用しました。直接行う作品の鑑賞に加え、バーチャルで多くの仲間の作品に触れる機会を設けました。

スクールタクトの導入効果

今回スクールタクトを活用することで、児童の鑑賞の量と質の両方が向上したと感じます。
自分の作品に多くの仲間からいいねやコメントをもらうことで自己有用感が育まれ、学級内が安心できる居場所となることにもつながっています。いいねやコメントの発信は他者との関係性づくりのきっかけとなり、他者に伝える力の向上が期待できます。

教科指導におけるスクールタクトの活用が学級経営にも役立っている事例といえるでしょう。

詳細はこちらからご覧いただけます▼
https://qr.paps.jp/DrDkL



レッスン

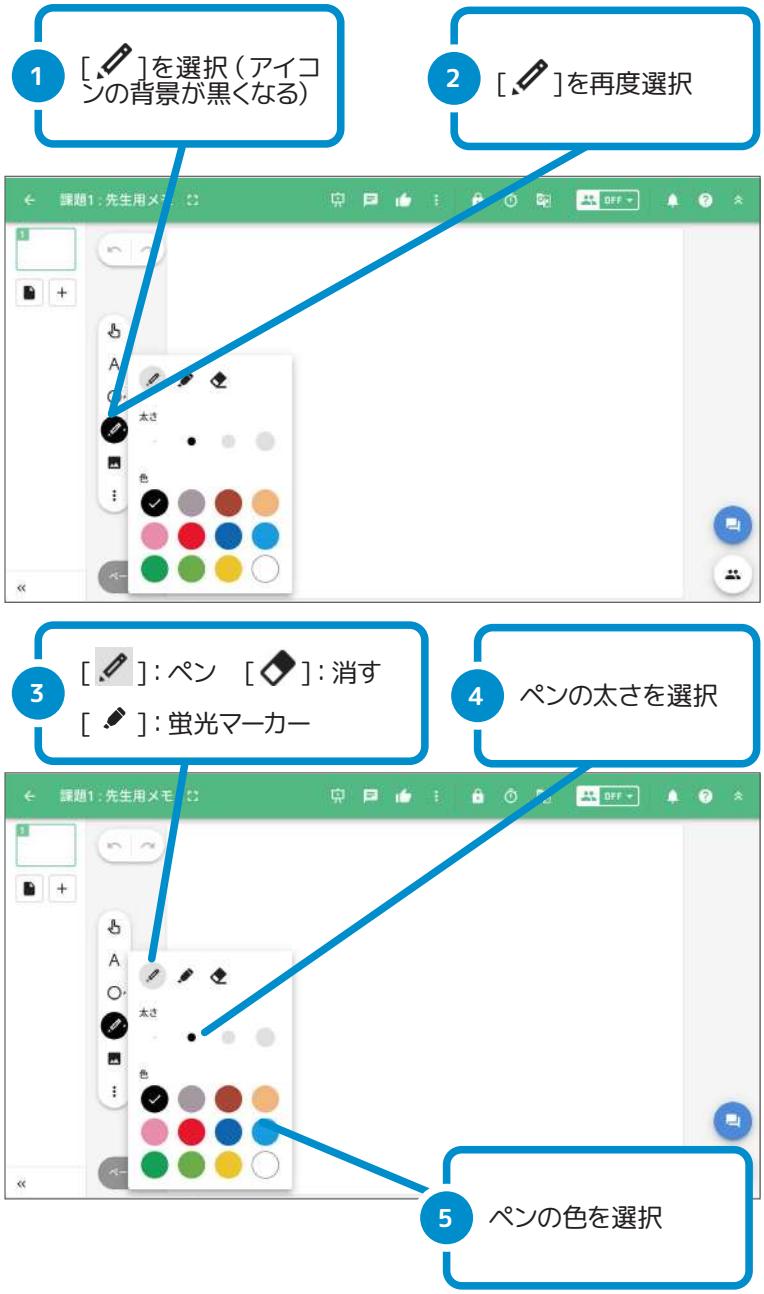
14 ツールを説明しよう

研修を受講する上で必要な機能について、研修担当者が説明します。
本レッスンでは、ツールバーに収納されている機能の説明と、研修受講者から実際に挙がる質問内容について解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 初めてカメラ機能を使うときは、端末にカメラへのアクセス許可を与える
- □ 手書きの線を書いたり消したりできる
- □ テキストは、横書きと縦書きで入力できる

1 鉛筆ツール



研修ポイント

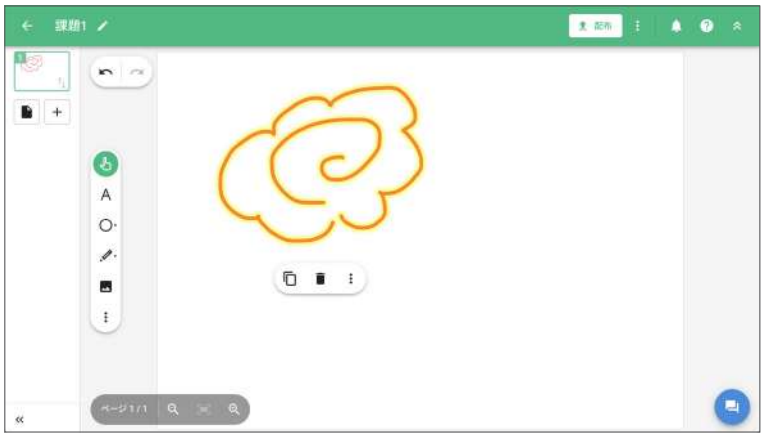
- ペン、テキスト、画像等キャンバスに書き込む際によく使うツールの説明をします。文字の色や枠の色を変更したり、サイズ調整できるたりすることも説明します。
- 小学校低学年などタイピングが苦手な子供の場合は、テキストではなく、手描き入力やペンや紙に書いた回答を写真にとって貼ることをおすすめします。

プラスワン

レイヤー機能

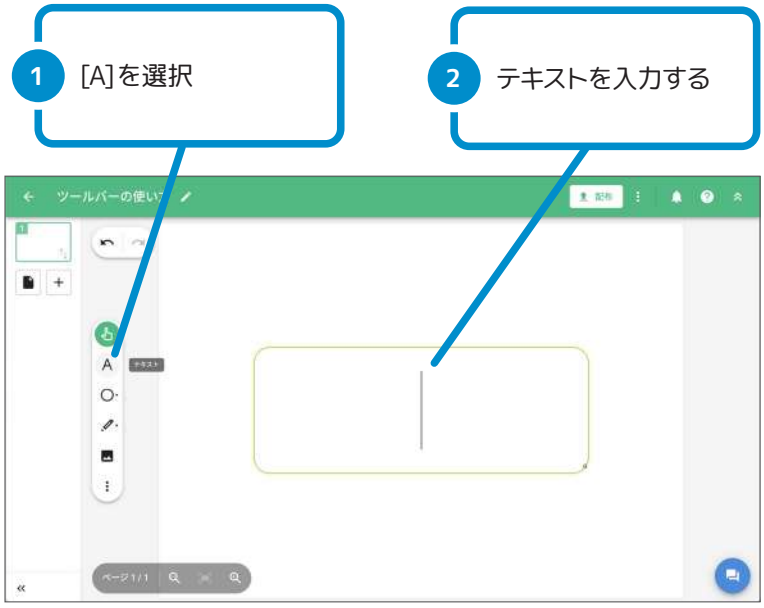
画像の上や図形の上に文字を書く時に、最前面にしたり最背面にしたりするレイヤー機能が便利です。

https://qr.paps.jp/2Y4FW



入力が完了しました。

2 テキストツール



テキストボックスの周りに表示される矢印をドラッグすると、テキストボックスが拡大・縮小・回転します。

入力が完了しました。

注意

テキスト入力に関する質問が出たら

Q.テキストの色を変えるにはどうすればよいですか？
A.テキスト入力を完了した後、テキストボックスの上に出るツールバーから A ボタンを選択すると、変更できます。

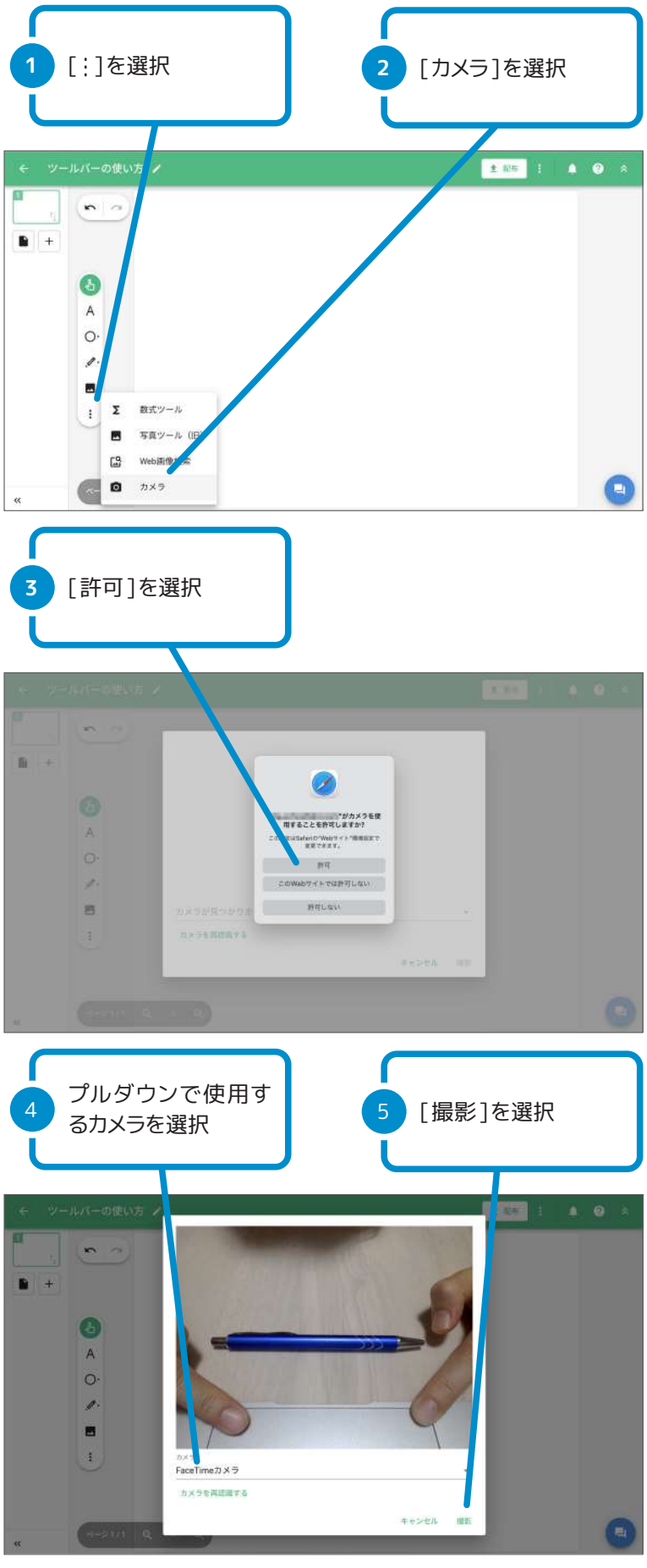
Q.テキストを縦書きにすることはできますか？
A.テキスト入力を完了した後、テキストボックスの上に出るツールバーから A ボタンを選択して表示されるアイコンの中から、↓A を選択すると、テキストが縦書きで表示されます。

Q.テキストボックスの枠に色をつけたり、枠の太さを変えたりすることはできますか？
A.テキスト入力を完了した後、テキストボックスの上に出るツールバーからペンボタンを選択すると、変更できます。

Q.テキストボックスの背景に色をつけることはできますか？
A.テキスト入力を完了した後、テキストボックスの上に出るツールバーからバケツボタンを選択すると、変更できます。

https://qr.paps.jp/Br010

3 カメラツール

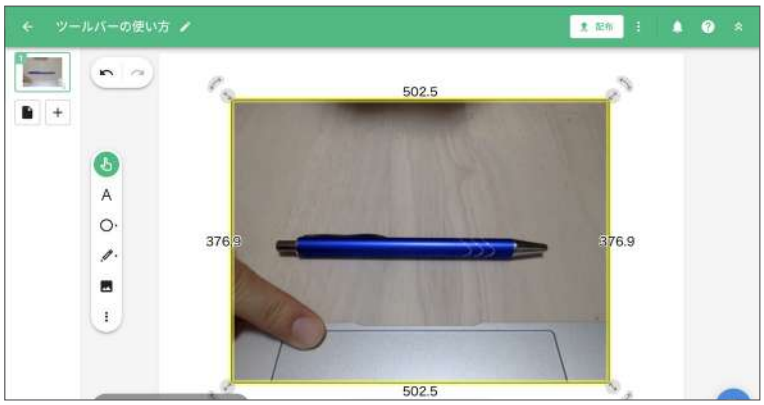


注意

カメラのアクセス許可について

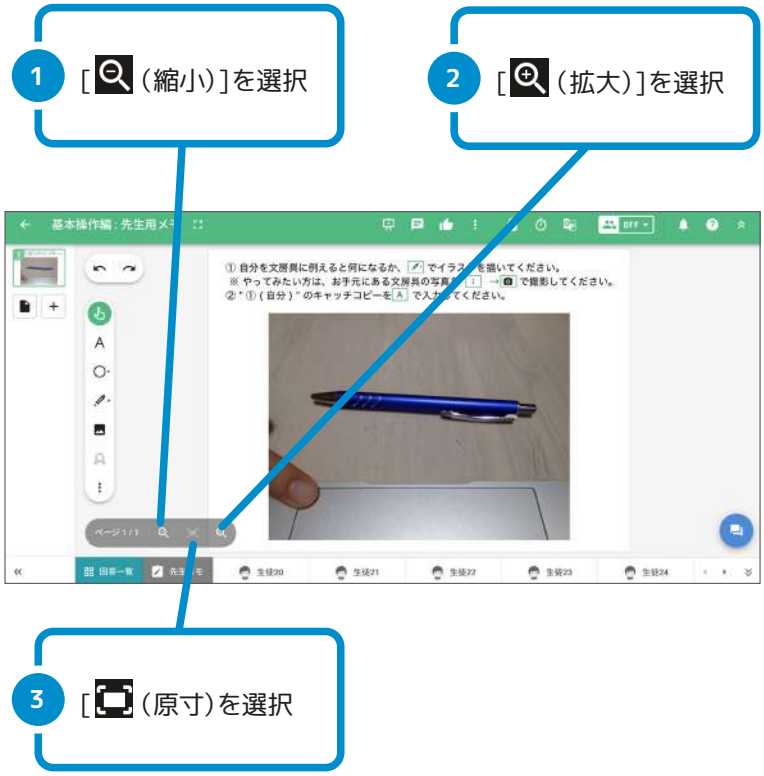
- カメラ機能を使う場合は、各受講者の端末でカメラへのアクセス許可を与えるよう伝えてください。
- カメラがない端末を使用する場合や、カメラ機能を使用しない場合は、画像ツールの説明は省略してください。

https://qr.paps.jp/xeFXZ



撮影が完了しました。

4 画像の拡大・縮小ツール



- タブレットをご利用の場合は、ピンチイン・ピンチアウト（2本の指をタッチパネルに当てて指同士の間隔を狭めたり広げたりすること）でも拡大・縮小できます。
- PC をご利用の場合は、コントロール（ctrl）キーを押しながらマウスホイールを回転させることで拡大・縮小することもできます。

注意

画像の貼り付けに関する質問が出たら

Q.ブラウザがカメラを認識しないときはどうすればよいですか？
A.使用している端末の設定を開き、カメラへのアクセスを許可してください。
※ お使いの端末の設定によっては、カメラの利用そのものが許可されていない場合もあります。

Q.端末の中にある画像を貼り付けるには、どうすればよいですか？
A.ツールバーにある黒い四角を選択すると、端末の中にある画像ファイルを選んで貼り付けることができます。

Q.動画や音声を貼り付けることはできますか？
A.キャンバス画面に貼り付けることはできません。
※ コメント欄や授業チャットにデータを添付することはできます。

レッスン

15 課題を解いてもらおう

研修受講者が、研修用課題に取り組みます。
本レッスンでは、取り組み中の時間管理と提出にいたるまでの流れを解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ タイマーが終了すると、端末から音が流れる
- □ タイマーで設定した制限時間は、後から修正できる
- □ 課題が提出されると、児童生徒の端末に通知が表示される

1 タイマーを設定する

研修ポイント

- 先生の回答一覧画面を見せることで、生徒の回答がリアルタイムに反映されるところを体感してもらいましょう。
- 机間巡視の代わりになることを説明してください。

注意

GIGA スクール版はタイマー利用不可
GIGA スクールでは、タイマー機能はご利用いただけません。

2 課題を解いてもらう

以下のポイントを説明しながら、実際に課題に取り組んでもらいます。

- 先生の手元で児童生徒の取り組みがリアルタイムに見える
- 書き込む様子や消す様子がわかる
- 困っている児童生徒に、口頭やスクールタクト上でヒントを出せる

3 回答一覧について説明する

回答は一覧表示でき、受講者の回答を見ることができます。

- 何人かの受講者の回答をピックアップして、解説しましょう。
- 何人かの受講者の回答をピックアップして、添削しましょう。

4 提出してもらう

メモ

生徒が提出した課題を先生が差し戻したり、生徒自身が提出を取り消したりできます。

回答一覧画面（先生側一覧表示）

生徒アカウントの画面

1 キャンバスをロックをする

キャンバスをロックをするのは、課題の提出後の説明に集中してもらうためです。

研修ポイント

先生の説明を待たずに問題を解き始めてしまう、回答時間が過ぎてもをまだ解いている生徒がいる時などに、キャンバスロック機能で生徒の書き込みを禁止することができます。

注意

キャンバスをロックをすると生徒画面からツールバーが消え、書き込みができなくなります。

メモ

キャンバスをロックすることで、課題や講義への集中を促すことができます。

キャンバスロック後の画面（生徒側）

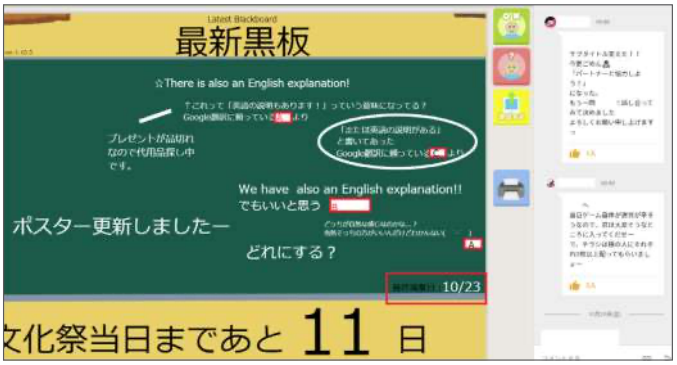
キャンバスロック後の画面（先生側一覧表示）

COLUMN
実践事例紹介～成城学園初等学校～

●児童主体の文化祭準備でフル活用

スクールタクトを活用して文化祭のクラス展示準備を行いました。児童が主体的に活動できるように最低限のルールを決めたうえで、児童に予算管理・買い出し・ゲームの企画、制作、運営などすべてを一任して文化祭準備を進めました。準備を進めるうちに、児童のほうがスクールタクトを使いこなしていくように。たとえば、個人の作業日記にコメントを書き込む子が現れ、最終的に「最新黒板」としてチームの連絡板となるなど、独自の工夫が随所に見られました。このような主体的な推進の結果として、文化祭を無事成功させることができました。

詳細はこちらから
ご覧いただけます▼
https://qr.paps.jp/mnf1d



レッスン

16 採点について説明しよう

研修担当者が、研修受講者の取り組んだ課題に評価を行います。
本レッスンでは、点数評価とスタンプによる評価の方法を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 点数評価は 100 点満点
- □ スタンプ評価は 3 段階
- □ 先生は、付けた評価を取り下げて削除できる

1 採点する

採点結果は CSV で取り出すことができます。

研修ポイント

スタンプを押したり点数をつけたりして採点をします。採点結果はCSVにして取り出すことができます。

メモ

採点された児童生徒のキャンバスは、回答一覧画面上には採点済と表示されます。

2 スタンプで評価する

1 [ ]を選択

2 スタンプを選択

3 [削除する]を押し、スタンプを変えられる

注意

採点後、自動生徒のキャンバスからツールバーが消えます。先生キャンバスから「やり直し」を押すと、児童生徒のキャンバスにツールーバーが再表示され、入力が再開できます。

一斉学習による基本操作の説明は以上です。

レッスン

17 協働学習用の研修課題を配布しよう

研修担当者が研修受講者へ協働学習用の課題を配布し、回答してもらいます。
本レッスンでは、課題の配布から回答までの流れとポイントを解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 配布した課題を開くと、先生側の回答一覧画面に受講者の氏名が表示される
- □ 配布した課題を差し戻すことはできない

協働学習用の課題例

先生側画面

生徒側画面（配布後）

リストの中から決められた数の単語を選び、その単語を使った一文を作る課題です。

研修ポイント

課題の回答例を例示しましょう。
（例）【袋】が【汚れ】て【悩む】子ども

注意

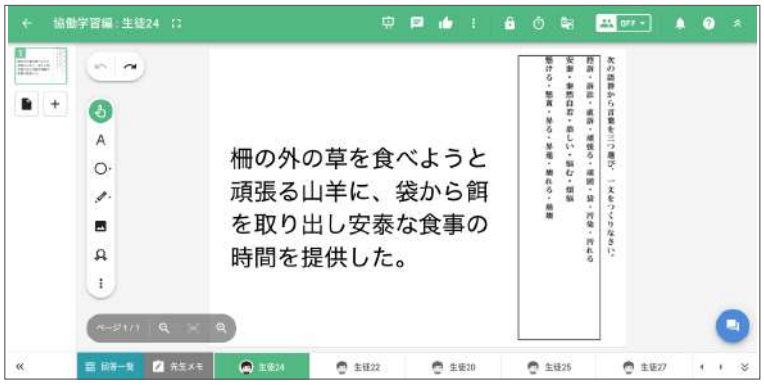
配られる前の課題は非表示
受講者側の単元内には、配布される前の課題は表示されません。

課題の差し戻しはできない
受講者へ向けて一度配布した課題を、後から差し戻すことはできません。

プラスワン 小学校向けテンプレート

小学校向け課題テンプレート「朝ごはん」もあります。その日に食べた朝ごはんについて手書き、テキスト入力、画像貼り付けなどで表現する活動になります。

研修担当者が受講者の回答を閲覧



回答一覧画面

研修ポイント

- 実況しながら先生画面を見せることで、生徒の回答がリアルタイムに反映されるところを体感してもらいます。

注意

GIGA スクール版はタイマー利用不可

GIGA スクール版では、タイマー機能はご利用いただけません。

COLUMN 実践事例紹介～新地町立尚英中学校～

●第二次世界大戦の概念図をつくる

歴史の授業における「第二次世界大戦」の単元のまとめとして、スクールタクトを使って第二次世界大戦に関する感想と各国の関係図を作る授業を行いました。戦争の単元だったので、生徒からは戦争の怖さに対しての感想が多く出ました。各国の概念図作成にあたっては、自分なりに調べて、概念化し、まとめるという一連の作業を行いました。生徒それぞれが視覚的にも工夫をこらしてまとめました。

詳細はこちらから
ご覧いただけます▼
https://qr.paps.jp/BUDRT

レッスン

18 受講者同士で回答を見よう

研修受講者同士で、回答を見合ってリアクションを送り合います。
本レッスンでは、いいねとコメントを送り合う流れを解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 共同閲覧 / 編集は、1クリックで切り替えられる
- □ いいねの数を非表示にできる
- □ コメントへの返信機能を使うと、返信元のコメントが表示される

1 共同閲覧モードに変更する

受講者の画面下部に、受講者名が表示されます。

研修ポイント

「他の人の意見をみたい！」という思いを参加者がもつように研修担当者側でも発言すると場が盛り上がります。
（例）「Aさんのその意見。思いつかなかった！」「Bさんも面白い意見ですね！」

プラスワン コメント欄の活用

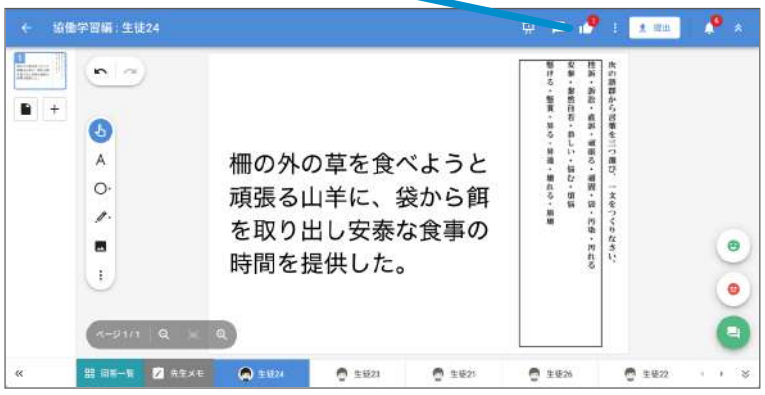
- コメント欄は、写真や動画なども共有することができます。英語のスピーキング課題を提出したり、低学年の児童がオリジナルスタンプを紙に描いて撮影してリアクションしたりといった活用に応用できます。
- もらったコメントに対しての返信や「いいね」もできます。

2 回答一覧モードに変更する

1 [回答一覧]を選択

3 いいねをする

1 [ ]を選択



研修ポイント

- 「参考になった！おもしろい！」と思った回答に「いいね」をつけようと伝えましょう。

注意

- 課題への「いいね」は一人1回だけできます。
- もう一度「いいね」を押すと「いいね」が解除されます。

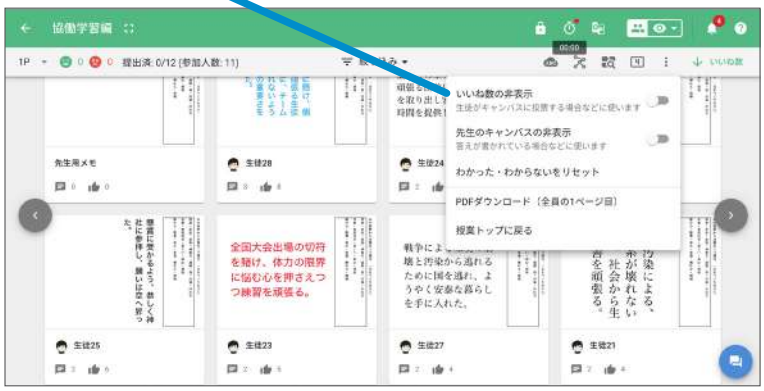
COLUMN なるほど！意外！クラスメイトの頭の中

●他の人の回答を見られて楽しい！

スクールタクトを使う児童生徒からよく聞く言葉です。仲のいい友達が自分とは異なる視点を持っていたり、一度も話したことのないクラスメイトが自分と近い考えを持っていたりするのがわかると、その意外性から学習に対してどんどん前向きになります。

4 いいね数を非表示にする

1 「いいね数の非表示」を選択



「いいね」の数が非表示になります。

プラスワン

いいねの数を非表示にする

いいね数の非表示をすることで、児童生徒が数に自分の考えを惑わされず、「いいね」を送りやすくなります。

https://qr.paps.jp/K5TGv

COLUMN

実践事例紹介～近畿大学附属広島高等学校・中学校　福山校～

●過去問題を生徒同士でオンライン添削

大学入試における現代文の過去問題を解き、スクールタクト上で生徒がお互いの解答用紙を添削しあう授業を実施しました。

生徒は、解答用紙に書かれた答えを端末のカメラで撮影し、スクールタクトのキャンバス画面に貼り付けます。その後、先生の解説を通して問題の解き方について理解を深めます。次に、先生がスクールタクトを共同編集モードにすることで、生徒は他の生徒の解答用紙に書き込みを行えるようになります。添削時に使うペンの色を先生が生徒毎に指定しているため、生徒も先生も、添削を行った生徒を把握できるようになります。

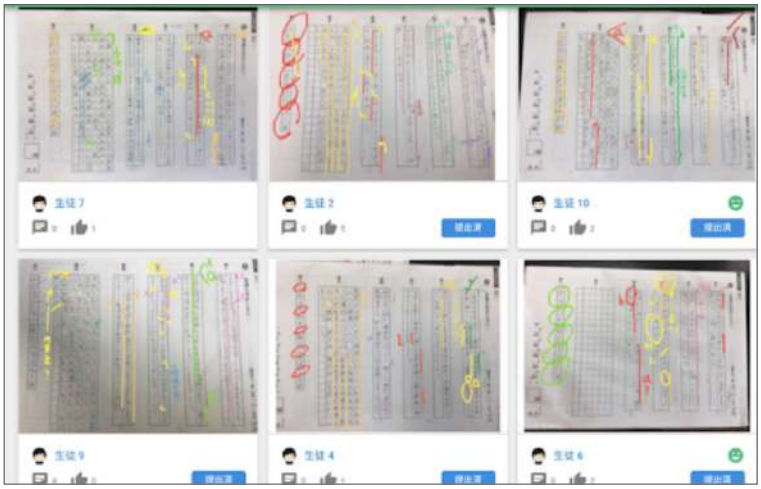
先生の解説と相互添削を経て得た気づきをふまえて、生徒は自分の解答用紙にボールペンで添削を行い、結果をスクールタクトに提出します。

●スクールタクトの導入効果

生徒が手元の端末で他者の答案を見られるため、答案を交換する手間がかかりません。

また、採点の結果はすぐに反映され、自動的に保存されるため、先生が答案を回収することなく、採点の進捗を確認することができます。生徒同士で、いいね評価をボタン一つで送り合うことで、お互いの自己肯定感が高まります。

詳細はこちらから
ご覧いただけます▼
https://qr.paps.jp/0dPD5



レッスン

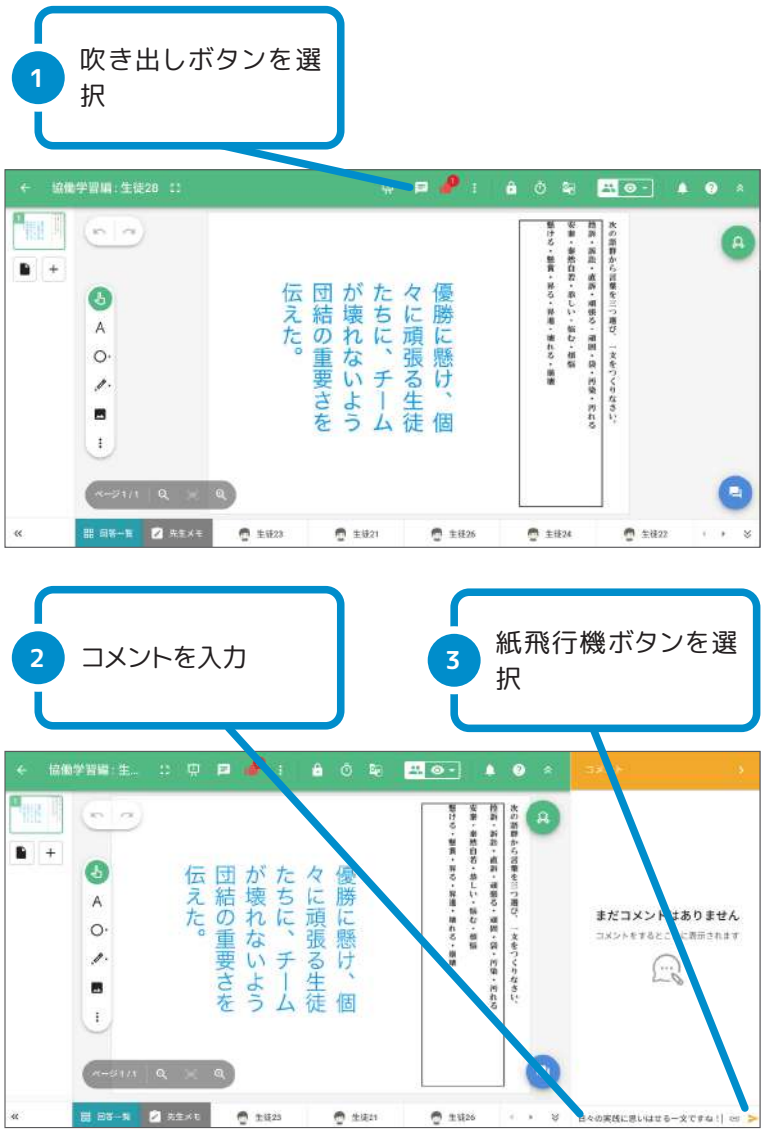
19 コメントをしてみよう

受講者同士でコメントを送り合うことができます。本レッスンでは、コメントの送り方とキャンバスの並べ替え方について解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

□ コメントを送る際には、ショートカットキーでも操作できる
□ 回答一覧画面では、コメントの数が多い順番にキャンバスを並べ替えることができる。

1 コメントをする



研修ポイント

コメントは、共感 ・疑問・気づきの3つのどれかを書いてみようと研修参加者に伝えるとスムーズです。

プラスワン 多彩なコメント機能

- コメント欄は、写真や動画なども共有することができます。英語や国語での児童生徒の音読の宿題提出などにも活用できます。
- もらったコメントに対しての返信や「いいね」もできます。

メモ

「Ctrl + Enter」や「⌘ + Return」などのショートカットでも送信できます。

2 ソートする

1 [↓]を選択

2 「コメント数」を選択

コメント順に並び替えられます。

研修ポイント

コメントやいいね順で並べることで、先生はどの回答が生徒の反応が良かったか瞬時に把握できます。

注意

出席番号について

- 児童生徒アカウントに出席番号が登録されている場合にのみ、出席番号順に並べ替えることができます。
- まなびポケットからは出席番号のデータは引き継がれません。

プラスワン 回答比較機能

回答比較機能を使って、注目したい回答をピックアップできます。

https://qr.paps.jp/COTzS

レッスン

20 ワードクラウドを使おう

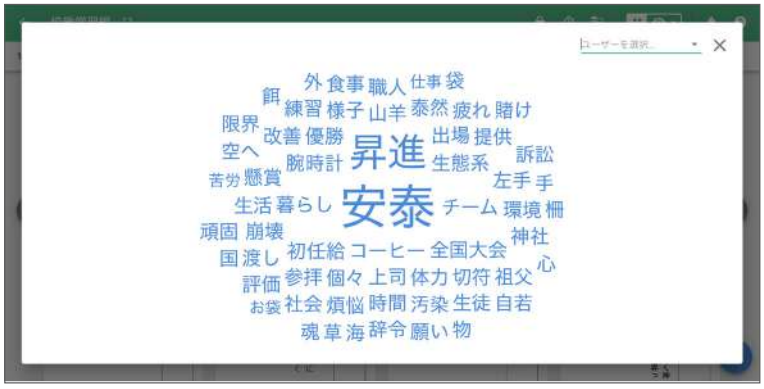
研修担当者や研修受講者がワードクラウド機能を使うことで、キャンバス画面に記入された単語数を集計できます。
本レッスンでは、ワードクラウド機能の使い方と見方を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 集計対象になるのは、キャンバス画面に入力されたテキスト。
- □ 任意の単語を選択すると、その単語を入力した児童生徒のキャンバスが絞り込まれる。
- □ 任意の児童生徒を選択すると、その児童生徒が入力した単語が青く表示される。

1 ワードクラウドを使う

1 回答一覧画面で
[ABC]を選択



ワードクラウドが表示されます。

研修ポイント

ワードクラウドのメリットは以下のようなものがあります。

- 全ての児童生徒の回答を見なくても、全体傾向が把握できる。
- 少数意見も拾うことができる
- 想定していなかった言葉（誤答など）が含まれている際に、先生が臨機応変に補足説明ができる。

注意

機能制限について

GIGAスクール版では、ワードクラウド機能をご利用いただけません。

メモ

協働閲覧モードや協働編集モードをオンにすると、児童生徒もワードクラウド機能を利用できます。

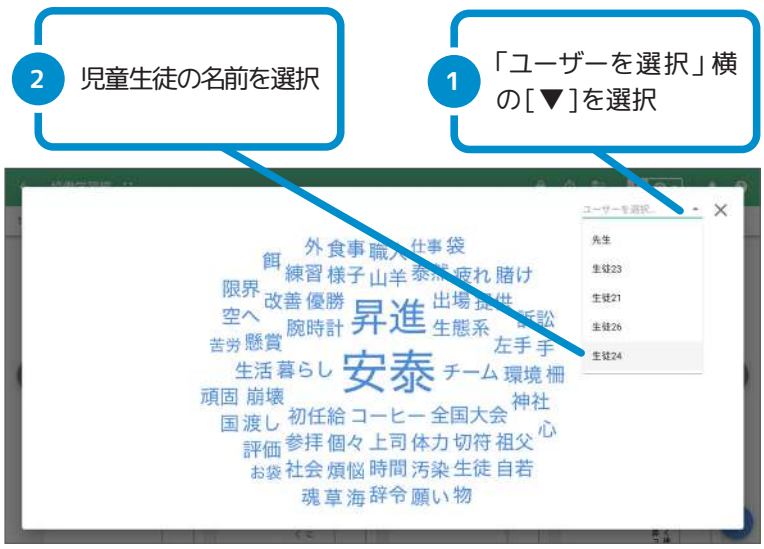
2 絞り込む

単語で絞り込む

使用した単語で児童生徒を絞り込むことができます。

児童生徒で絞り込む

特定の児童生徒が使用した単語を強調表示することができます。



プラスワン

絞り込みを活用する

- ワードクラウド機能でユーザーを選択すると、選ばれた児童生徒が書いたワードが青く表示されます。
- ワードクラウド機能で気になるワードを選択すると、そのワードを使っている生徒の回答が絞り込まれます。

レッスン

21 発言マップを見てみよう

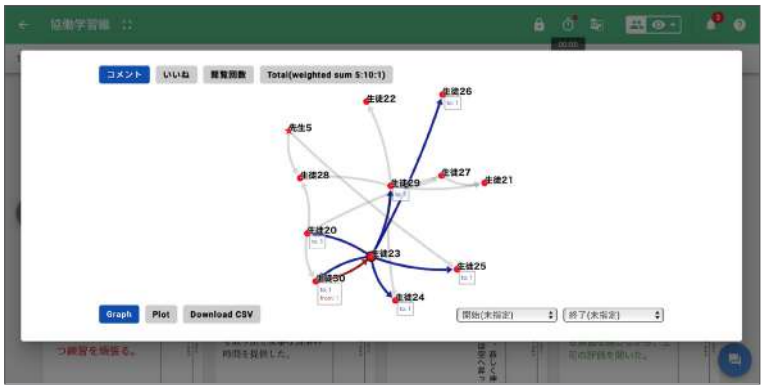
研修担当者が、研修受講者同士のリアクション状況を確認します。
本レッスンでは、発言マップを利用したリアクション状況の確認方法と見方を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 集計されるリアクションは閲覧、コメント、いいねと、これらの合計
- □ 表示方法は、マップと散布図の 2 種類
- □ 散布図の上と右に配置された児童生徒ほど、リアクションを多くされている/している

1 発言マップを使う

1 回答一覧画面で［ ］を選択



発言マップが表示されます。

研修ポイント

- 発言マップは先生のみが利用できる機能です。
  授業中や授業後に、コメントや「いいね」が活発で主体的に授業に参加している生徒を把握することができます。

注意

GIGA スクール版では、発言マップ機能をご利用いただけません。

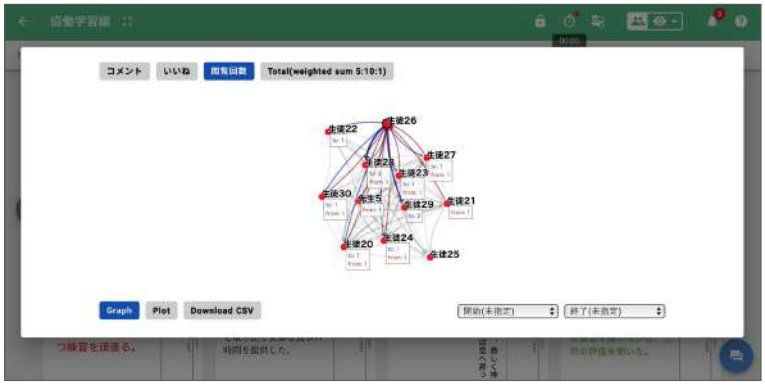
プラスワン 学習ログでも利用できます

発言マップは1つの課題に対して表示することもできますが、授業の「学習ログ」タブで、授業全体の発言マップを表示することもできます。

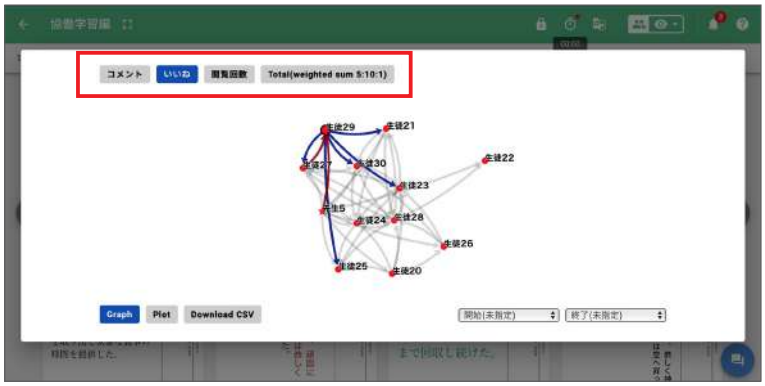
https://qr.paps.jp/6mIDH

2 発言マップを確認する

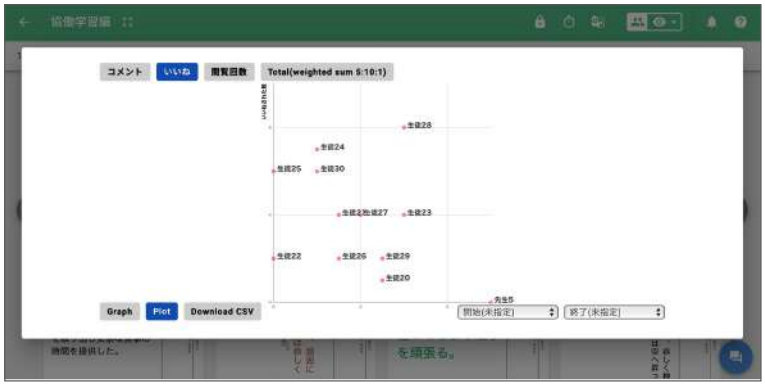
より多くのリアクションを受けた回答、より多くのリアクションをした受講者などについて説明を行います。



集計するリアクションの対象を選択できます。



plot を選択すると発言マップが散布図になります。周囲へのリアクション回数が多い受講者ほど、散布図の右に表示されます。また、リアクションされた回数が多い児童生徒ほど、散布図の上に表示されます。



レッスン

22 研修アンケート（振り返り）をとろう

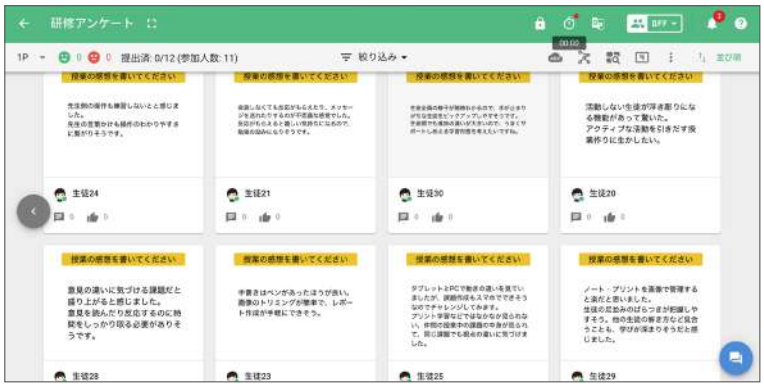
研修受講者が研修アンケートに回答します。
本レッスンでは、テンプレートとルーブリックの2種類のアンケート回答手順を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 回答したアンケートは、スクールタクトに自動で保存される
- □ ルーブリック機能には、100字程度のコメントを記入できる

1 アンケートを書いてもらう

1 アンケート用の課題を配布する



研修ポイント

「楽しかった」などの感想だけにならないように、「明日から試してみたいこと」を考えてもらいましょう。

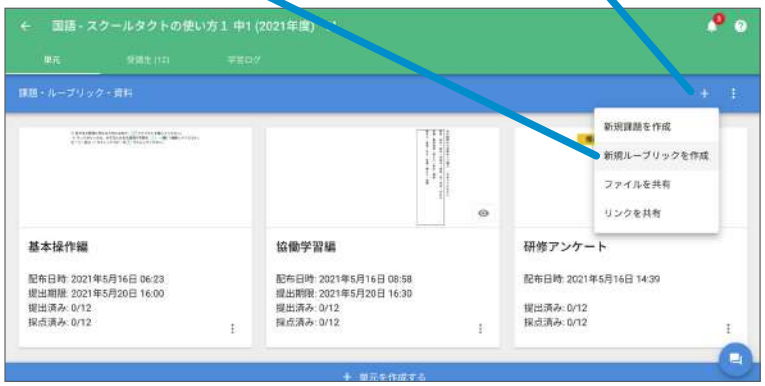
メモ

ページが足りない場合は、1課題につき最大20枚まで追加できます。

2 ルーブリックを配布する

2 「新規ルーブリックを作成」を選択

1 単元画面で［+］を選択



3 評価内容を確認・修正

4 ［配布］を選択

3 ルーブリックを記入・提出してもらう

1 当てはまる評価を選択

2 ［提出］を選択

プラスワン ルーブリックを使う場合は

ルーブリック機能を使う場合は、SABC評価と「明日から試してみたいこと」をコメント欄に書いてもらいましょう。

GIGAスクール版ではルーブリック機能はご利用いただけません。

メモ

100文字程度のコメントを記入することもできます。

MEMO

先生アカウント体験編

レッスン

23 授業枠を作成しよう

研修受講者が、自分の担当する授業枠を作成します。
本レッスンでは、授業枠の新規作成の手順を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 授業枠の作成は、最短で4つのステップで完了
- □ 研修のタイトルを授業枠に入力できる

1 授業枠作成を開始する

※作成済みの授業がない場合は［授業を作成する］を選択します。

注意

当該の学年と科目では、スクールタクトを使う全ての先生向けに公開されているテンプレートがまだない場合には、テンプレートが表示されません。

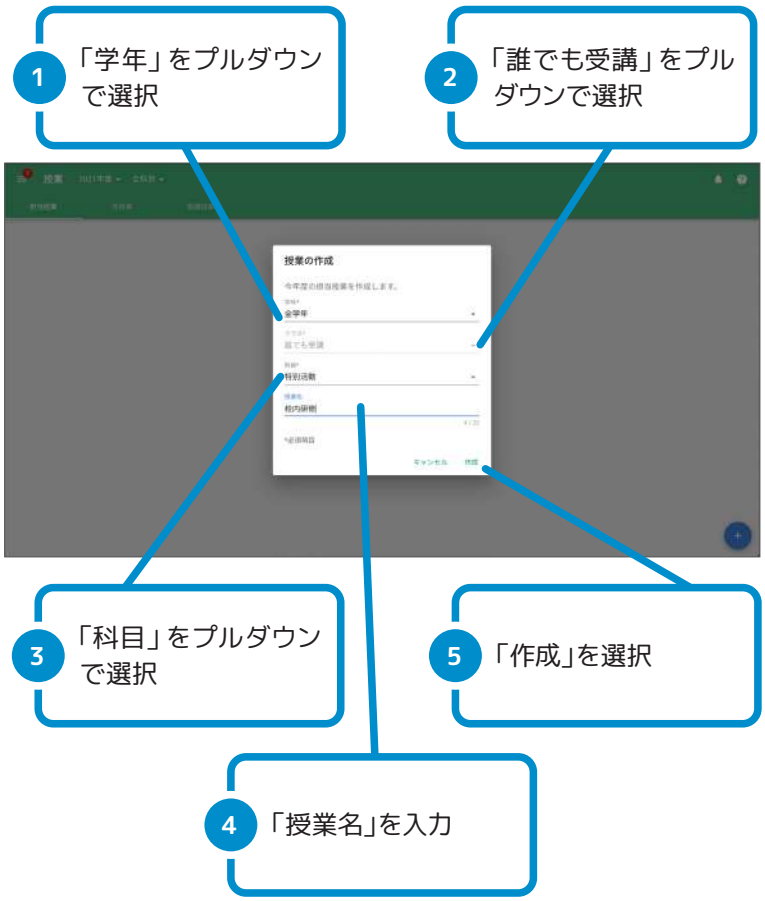
プラスワン

準備にかかる時間や作業回数を伝える

以下を研修受講者に伝えると、ICT に苦手意識を持つ先生も安心できて、研修がスムーズに進みます。

- 課題作成から配布までは、最短 4 回のクリックで OK！
- 校務の合間、3 分で手軽に課題の準備を行えます

2 項目を選択する



授業枠を作成できました。

レッスン

24 課題を作成しよう

単元の中に、研修用の課題を作成します。本レッスンでは、研修用のテンプレートを使用して行う課題準備の手順を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 課題は、白紙と課題テンプレートの 2 種類から選んで作成できる
- □ 研修用の課題テンプレートを自作して保存できる

1 課題の作成を開始する

研修ポイント

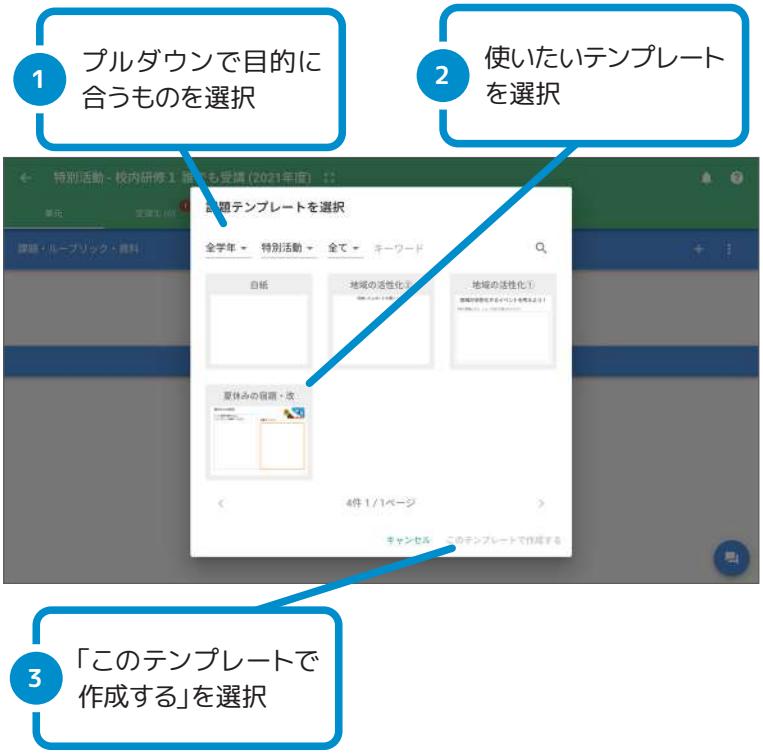
- 課題作成時には、白紙を選択しましょう。
- 以下を研修参加教員に伝えると、ICT に苦手意識を持つ先生も安心できて、研修がスムーズに進みます。
- 授業で使うツール数：は主に鉛筆・テキストの2 つ です。慣れたら画像貼り付けも使ってみましょう。

プラスワン

ワークシートを取り込む

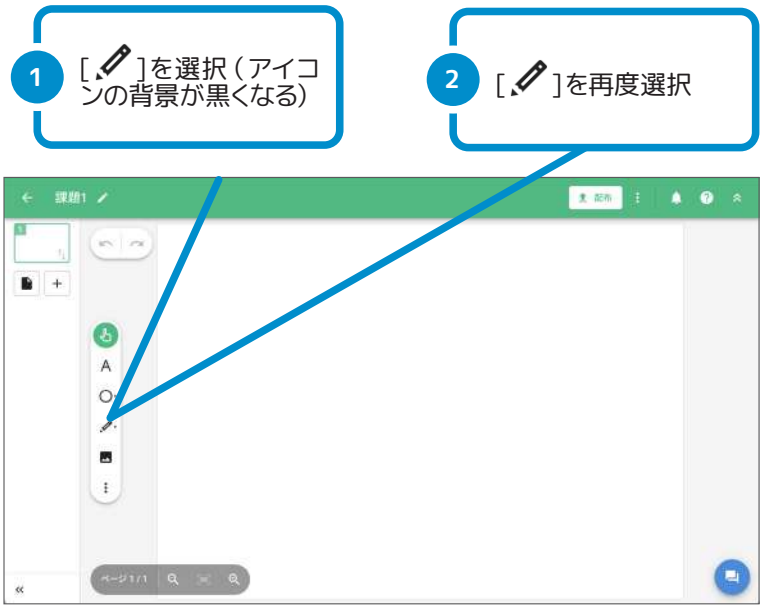
- PDF 形式に変換したワークシートを取り込んで配布することができます。
- デスクトップ上の画像ファイルを、ドラッグ & ドロップしてキャンバス画面に貼り付けることができます。
- word や web 上の文字をコピーして、テキストボックスに貼り付けることができます。

2 課題テンプレートを選ぶ



課題が作成されます。

3 鉛筆ツールを使う

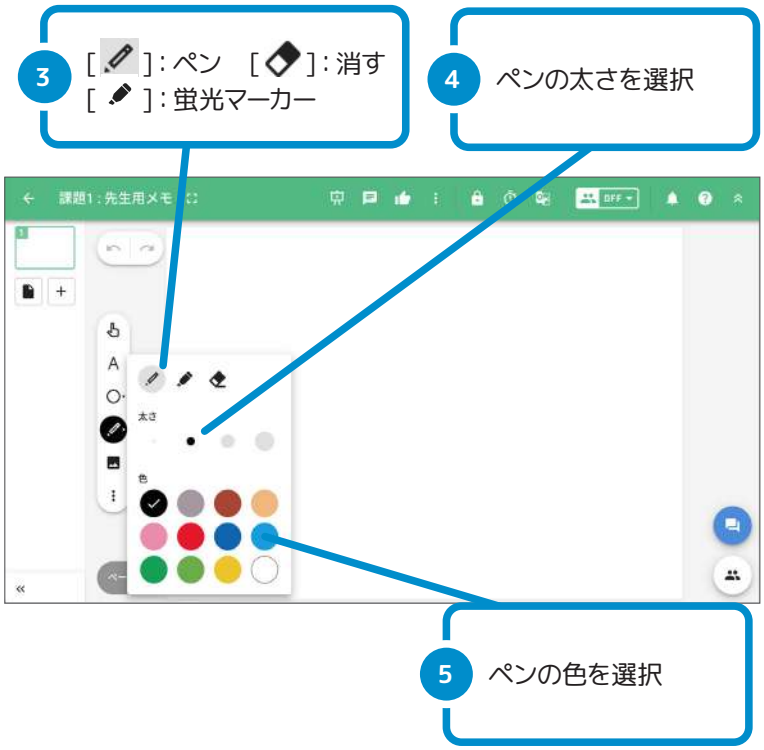


注意

鉛筆ツールに関する質問が出たら

Q. 線の色や太さを変更するにはどうすればよいですか？

A. 鉛筆ツールボタンを 2 回選択すると、色や太さを変更できます。



2 テキストツールを使う

- テキスト入力後、枠の外をクリック / タップすると入力が確定します。
- テキストボックスの周りに表示される矢印をドラッグすると、テキストボックスが拡大・縮小・回転します。

注意

テキスト入力に関する質問が出たら

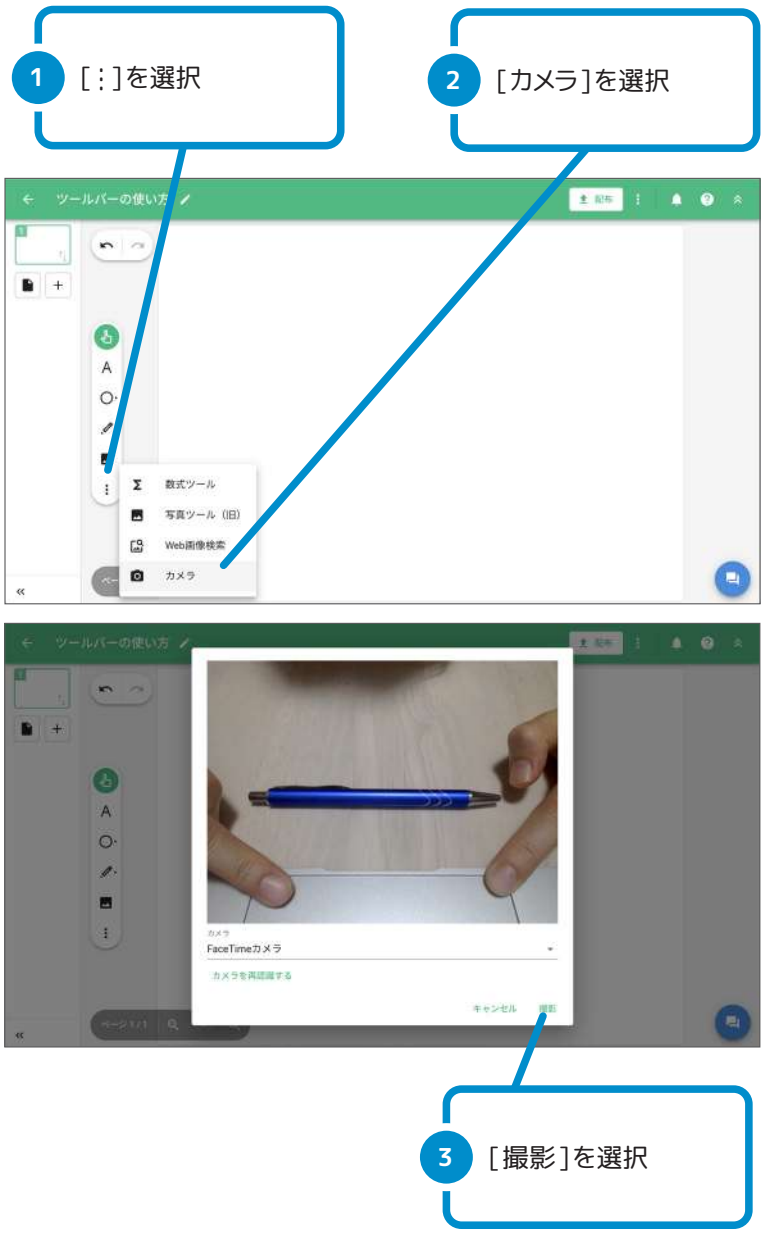
Q.テキストの色を変えるにはどうすればよいですか？
A.テキスト入力を完了した後、テキストボックスの上にでるツールバーから A ボタンを選択すると、変更できます。

Q.テキストを縦書きにできますか？
A.テキスト入力を完了した後、テキストボックスの上に出るツールバーから A ボタンを選択して表示されるアイコンの中から、↓A を選択すると、テキストが縦書きで表示されます。

Q.テキストボックスの枠に色をつけたり、枠の太さを変えたりできますか？
A.テキスト入力を完了した後、テキストボックスの上に出るツールバーからペンボタンを選択すると、変更できます。

Q.テキストボックスの背景に色をつけられますか？
A.テキスト入力を完了した後、テキストボックスの上に出るツールバーからバケツボタンを選択すると、背景の色を選択できます。
https://qr.paps.jp/Br010

3 カメラツールを使う



注意

画像の貼り付けに関する質問が出たら

Q.ブラウザがカメラを認識しないときはどうすればよいですか？

A.使用している端末の設定を開き、カメラへのアクセスを許可してください。

※ お使いの端末の設定によっては、カメラの利用そのものが許可されていない場合もあります。

Q.端末の中にある画像を貼り付けるには、どうすればよいですか？

A.ツールバーにある黒い四角を選択すると、端末の中にある画像ファイルを選んで貼り付けることができます。

Q.動画や音声を貼り付けられますか？

A.キャンバス画面に動画や音声は貼り付けられません。

※ コメント欄や授業チャットにデータを添付することはできます。

https://qr.paps.jp/xeFXZ

レッスン

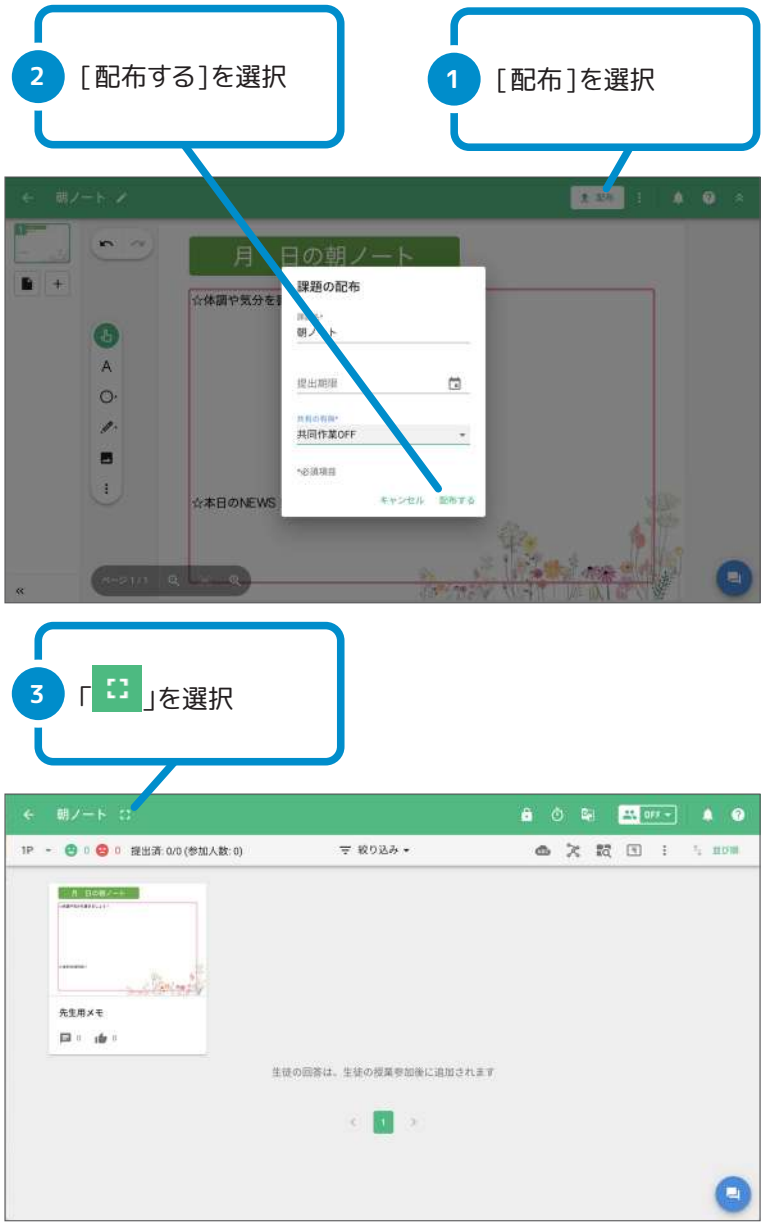
25 相互に授業をしてみよう

グループの中で先生役と児童生徒役に分かれて、相互に模擬授業を行います。
本レッスンでは、先生役の研修受講生が作成した授業へ、児童生徒役の研修受講者が参加して、模擬授業を行う流れを解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

□ 誰でも受講への受講生登録は、先生による受講生の選択と、児童生徒による受講コード入力の2パターン
□ 誰でも受講の受講生は、先生が後から任意で追加や登録解除できる

1 先生役が受講コードを渡す



研修ポイント

- 研修受講者が先生役と生徒役を体験し、気付きを共有することで、授業で使用したときのイメージを持ちやすくなります。
- グループを学年団や教科毎に分けると、学年や教科ならではの使い方までイメージが膨らみ、その後の利活用促進につながります。
- また、グループ内で先生役を決める際に、以下のように分けると盛り上がります。
- < 例 > 先生役→ グループ内で今朝一番早起きだった先生 / 誕生日が一番早い先生 等

注意

半角英数字で受講コードが入力されていることを確認しましょう。
また、０と０、ｌとｌ（小文字）などは誤入力しやすいので、あわせて確認しましょう。

受講コードが表示されます。

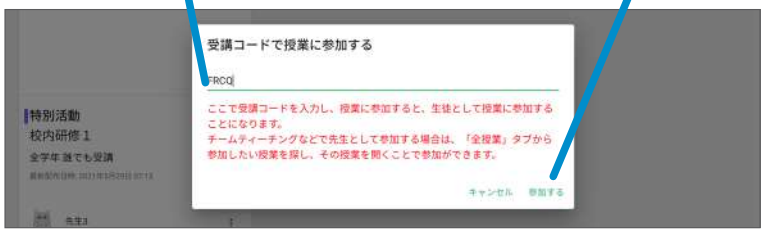
2 生徒役が受講コードを入力する

1 受講授業を選択

2 「+」を選択

3 授業コードを入力

4 [参加する]を選択



プラスワン

先生が児童生徒を登録できます

「誰でも受講」の場合、受講コードでの登録以外に、直接先生が児童生徒を受講生として登録できます。

https://qr.paps.jp/vMv

レッスン

26 グループ毎に模擬授業をしよう

研修受講者がグループ毎に分かれて、模擬授業を進めます。
本レッスンでは、研修担当者から研修受講者に向けた声がけのコツや、模擬授業中によくある質問と回答を解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

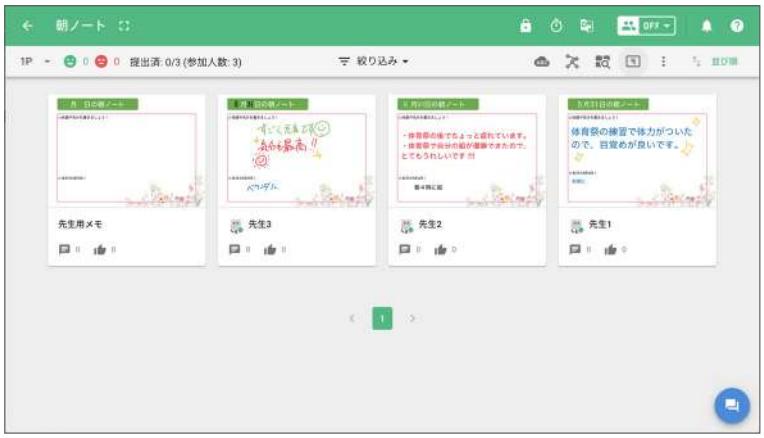
- □ 児童生徒が提出した課題を差し戻すには、先生が差し戻すか、児童生徒がやり直すボタンを選択する 2 パターン
- □ 採点結果とスタンプは、先生が後から修正 / 削除できる
- □ コメントの削除は、書き込んだ児童生徒本人と先生が行える。

研修担当講師が相互に授業をしている中で、どのようにファシリテーションを行えばよいか、コツを解説します。

1 鉛筆ツールを使ってみる

生徒役は、鉛筆ツールで文字を書いてみてください。

- 先生役は、鉛筆ツールの描画を手元の端末で見たり、生徒役の先生に見せたりしてください。
- 実況しながら先生画面を見せることで、生徒の回答がリアルタイムに反映されるところを体感してもらいます。



注意

リアクションに関する質問が出たら

Q.いいねを非表示にできますか？
A.先生が回答一覧画面上で、いいねの数の表示 / 非表示を切り替えることができます。

Q.書かれたコメントを削除できますか？
A.書いた生徒本人と、先生が削除できます。

プラスワン

提出した課題を編集したいときは

生徒役の先生が、画面右上のやり直すボタンを選択するよう伝えましょう。
また、教師側が差し戻すボタンを選択することでも、課題を再編集できるようになります。

2 共同閲覧でお互いの回答を見る

共同閲覧モードをオンにして、お互いの回答を見合ってください。

- コメントやいいねを送り合ってみてください。
- 授業チャットへコメントしてください。先生役は、授業チャットをロックしたり、解除したりしてください。

注意

児童生徒の活動に関する質問が出たら

Q.児童生徒の操作をロックできますか？
A.先生が画面上で、受講生全員の操作を一斉にロックできます。
※ ロックできるのは、スクールタクトのキャンバス画面の編集操作です。
※ 生徒同士の共同閲覧をロックしたいときは、先生が画面上で共同閲覧OFF を選択してください。
https://qr.paps.jp/IxzSF

Q.officeのファイルをキャンバス画面に貼り付けられますか?
A.PDFに変換すれば貼り付けることができます。
https://qr.paps.jp/URnDk

Q.選択問題の回答を集計できますか？
A.先生が画面上で2択 / 4択を選んで配信し、円グラフか棒グラフのいずれかの形で集計できます。
https://qr.paps.jp/cCqA7

3 投票する

2択 / 4択を配信して、投票を集計してください。

1 「○×投票」または「4択投票」を選択

2 ひとつを選択

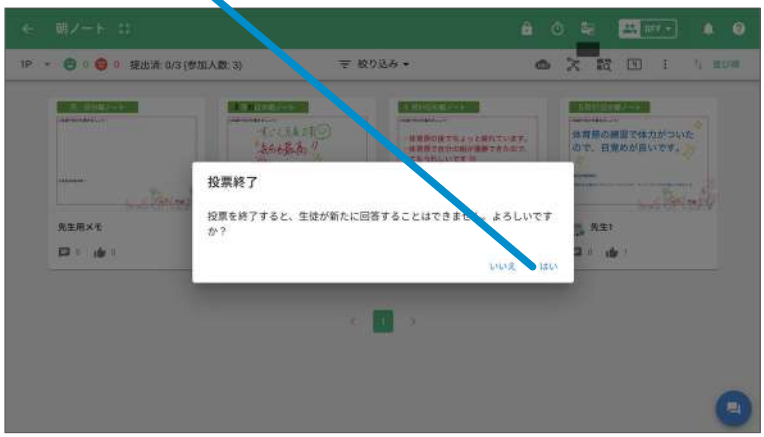
※ 投票を締め切る際は「投票終了」を選択

3 「投票する」を選択

メモ

- 投票は匿名で集計されます。
- 投票結果のグラフは、円グラフと 棒グラフの2種類から選べます。

4 「はい」を選択



投票結果が表示されます。

COLUMN ボタンひとつで個別最適化

● 匿名で理解度チェック

授業の途中、指導した内容が分かった人は○に、そうではない人は×に投票するよう、先生が指示します。匿名で集計されるメリットを活かし、児童生徒が自分の理解度を恥ずかしがらずに伝えられるようになります。先生は、分かった人には演習指示を、分かっていない人に向けては改めて学習内容の解説を、それぞれ行います。個別に最適化された授業をボタンひとつで展開できるのも、投票機能の魅力です。

● クイズ形式で授業をさらに盛り上げる

投票の集計中、グラフを表示した状態にしてモニターへ投影すると、集計結果の変動をその場で見られるようになります。クイズ番組さながらの演出を簡単に実現できるため、児童生徒の学習意欲を更にかきたてます。

レッスン

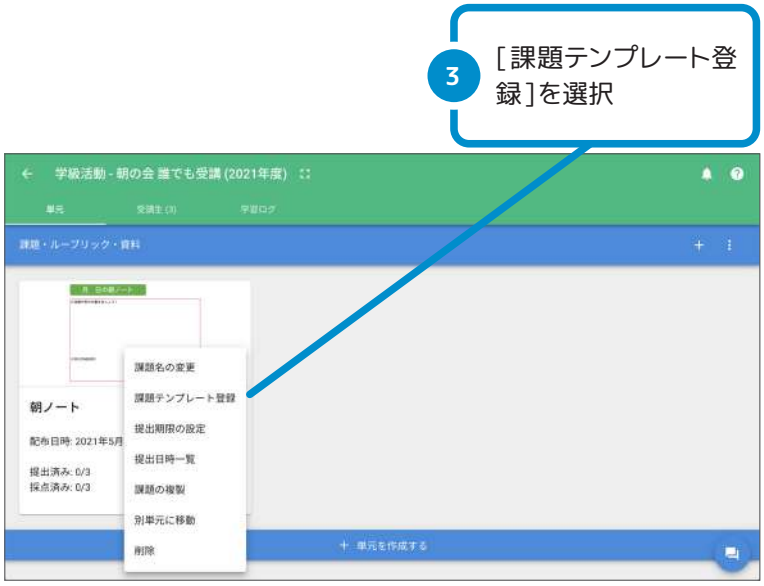
27 課題テンプレートの作成

模擬授業を担当した研修受講者が、配布した課題を課題テンプレートへ登録します。
本レッスンでは、課題テンプレートの登録方法とコツを解説します。

レッスンのポイント（これがわかればOK！）

- □ 課題テンプレートの公開範囲は、校内と、スクールタクトを使う全ての先生の 2 パターン
- □ 自分の保存したテンプレートは、後から修正や削除ができる
- □ 課題テンプレートの登録時、タグをつけて検索しやすくするとよい

1 課題を選ぶ



研修ポイント

先生の持っているワークシートをテンプレート化することで、以下のメリットを理解できます。

- いつもの授業をスクールタクトで行える！
- プリント印刷の時間と手間が減る！

注意

公開範囲に注意

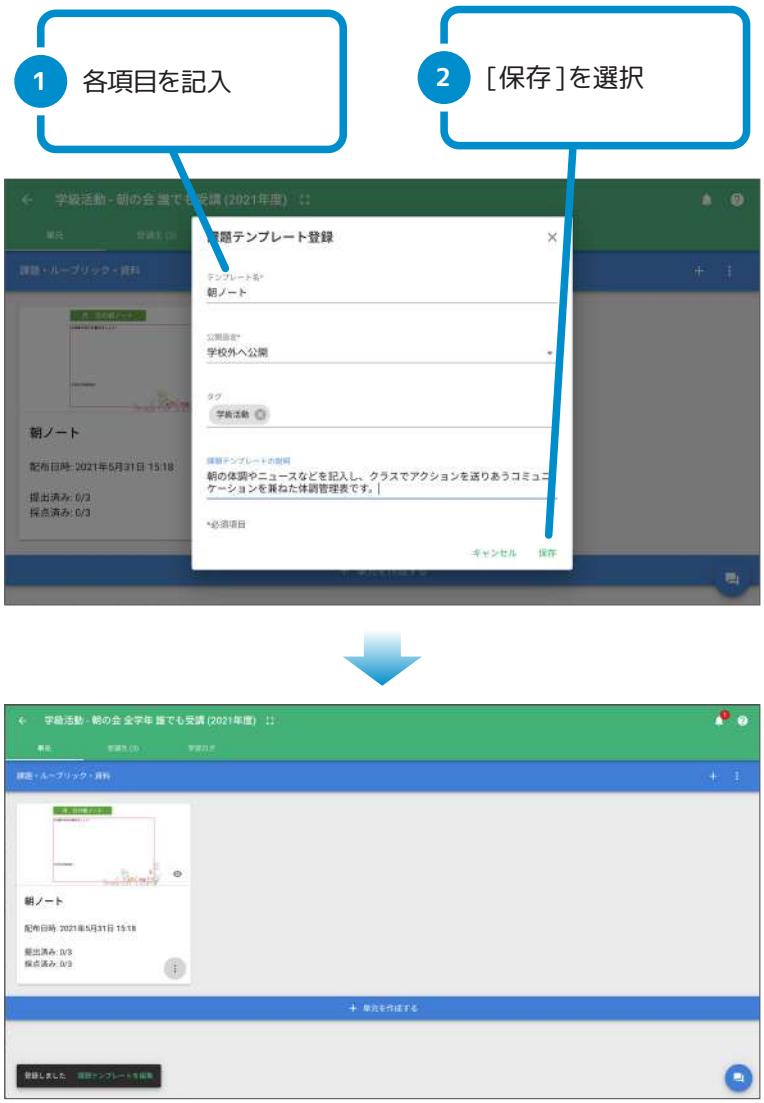
課題テンプレートの保存時に全体公開を選ぶと、勤務校以外でスクールタクトを使っている全ての先生と共有されます。

プラスワン

先生が児童生徒を登録できます

動く教材の作成をすると整序問題や、意見を分類させるワークシートが作成できて便利です。

2 登録する



保存が完了しました。

COLUMN 課題テンプレートで授業研究

● 数千点の課題テンプレートを使える!

スクールタクトに登録されている課題テンプレートは約6000点。全国の先生が現場で培ってきた指導ノウハウが、スクールタクトに集められています。ICTを活用する先生の指導ノウハウからヒントを得て、明日の授業に活かすことができます。

● ワークシートをテンプレート登録しよう

Word や Excel 、一太郎等でこれまでに作成してきたワークシートを PDF に変換して、スクールタクトへ取り込むことができます。ワークシートをテンプレート登録して保存すると、今まで以上に教材準備が楽になります。

Q&A

利用環境について

Q 利用できるOS、ブラウザについて知りたい。

A iPad、Windows、Android、Chromebook（Chrome OS）いずれのOSにも対応しており、ブラウザはSafari、Chrome、Microsoft Edgeに対応しています。

Q スマートフォンからでも使えますか？

A スマートフォンでもお使いいただけます。ただし、ブラウザによって対応していないものもあります。詳細はホームページの「動作環境」をご参照ください。

ヘルプサイトで確認
https://qr.paps.jp/Kiya9

Q 児童生徒が、スクールタクトを自宅や校外学習中等に利用できますか？

A できます。児童生徒の利用している端末がスクールタクトの動作保証対象であることと、インターネットに接続できる状態であることを確認の上、ご利用ください。

Q 利用に当たって必要なデータ通信量の目安を教えてください。

A 以下の通り、少ない通信量で動作します。
文字を書く / 図形を動かす動作は、約1KBの通信量です。
45分授業における1人あたりの通信量は約4MBです。
※1台あたりの1ヶ月の授業目安通信量＝
1日5授業x20日＝0.4GB/台
※数値はあくまで目安であり、利用状況によって通信量は変動します。
※上記目安通信量の算出条件は、課題テンプレート3枚 回答/提出（文字描画・図形移動・コメント書込）です。

Q スマートフォン、タブレット用アプリはありますか？

A iOS用、Android用それぞれのアプリを用意しています。

Q 先生や児童生徒がスクールタクトへログインする際には、IDとパスワードを毎回入力する必要がありますか？

A スクールタクトを開いたブラウザを閉じなければ、毎回入力しなくてもご利用になれます。また、SSO版をご利用の場合は、各プラットフォームへログインすれば、スクールタクトのIDとパスワードを入力してログインする必要はありません。

登録について

Q 生徒の登録を一括して行いたい。

A 管理者アカウントでログインして、画面左上ボタン「メニュー」の「アカウント管理」より、一斉登録用のCSVファイルをダウンロードします。その後、CSVファイルに、ID／パスワード、学年、クラス情報などを入力いただいた後、アップロードすることで、まとめてアカウントを登録できます。

Q 児童生徒の表示名を変えたいときにはどうすればよいですか？

A 既に登録されている名前の表示を切り替えたい場合は、先生が授業における表示名を、本名、よみがな、ニックネームの3種類から選ぶことができます。登録されている名前を上書き更新したい場合は、管理者アカウントでログインした後、CSVファイルを用いて名前を更新してください。

Q パスワードを忘れました。

A 先生アカウントの場合、管理者の先生に連絡してください。生徒アカウントの場合、授業担当の先生がパスワードを変更することができます。

ヘルプサイトで確認
https://qr.paps.jp/MPX1E

Q 回答一覧画面に表示されたキャンバスを、出席番号順に並べ替えられますか？

A できます。回答一覧画面から、先生が出席番号 順で並べ替えられます。ただし、児童生徒アカウントに、出席番号が予め登録されている必要 があります。

教材準備

Q パワーポイント、ワード、エクセルファイルを教材として利用できますか？

A 可能です。各種のファイルを PDF に変換すると、取り込めるようになります。

Q 児童生徒へ事前課題として、動画ファイルや音声ファイルを配布できますか？

A できます。ファイル共有機能を使うと、動画や音 声、画像データ等を配布できます。また、リンク共有機能を使うと、URLを児童生徒へ 配布できます。

Q 生徒が課題を事前に閲覧できないようにしたい。

A 未配布の課題を生徒は閲覧できません。作成した課題を、生徒に閲覧させたいタイミングで「配布」することで対応可能です。

Q&A

授業中

Q 生徒が書いている回答画面を把握できますか？

A 先生画面では、生徒の画面が一覧表示されるので、生徒の書き込みをリアルタイムに把握し、添削できます。

Q 課題の途中や終了後に、生徒によるキャンバスへの書き込みを制限できますか？

A キャンバスロック機能を使って書き込みツールを非表示にすることで可能です。

Q 回答一覧画面に表示されるキャンバスの並び替えはできますか？

A 名前、いいね数、コメント数、出席番号、提出時間順に並べ替えられます。

Q キャンバスに動画や音声を入れられますか？

A キャンバス自体への動画や音声の挿入はできません。そのため、生徒に動画や音声を共有したい、生徒から動画や音声を提出してほしい場合、下記のような方法があります。

◆生徒に動画や音声を共有したい場合

ファイル共有機能を使って、動画や音声ファイルを配布できます。

生徒は各自の端末で動画や音声をダウンロードできます。

◆生徒から動画や音声を提出する場合

生徒から動画や音声を提出する場合、キャンバスのコメント欄もしくは授業チャットから　アップロードできます。

授業後

Q 生徒の回答を印刷できますか？

A 回答一覧画面から、表示されているキャンバスをまとめてPDF形式で保存し、印刷できます。

ヘルプサイトで確認
https://qr.paps.jp/vBpSh

Q 採点した結果をデータでデータで取り出せますか？

A CSVファイルで取り出せます。

Q 児童生徒の課題提出時間を確認できますか？

A 提出日時一覧から確認することができます。また、提出日時の記載されたCSVファイルをダウンロードして確認できます。

機能紹介

PDF の貼り付け

Word や Excel 、一太郎等でこれまでに作成してきたワークシートを PDF に変換して、スクールタクトへ取り込むことができる。

CHECK レッスン 11、レッスン 26 他

ルーブリック

児童生徒の学習到達度を評価するための基準を表にしたもの。課題や成果物に求める到達度を、複数の観点を元に評価の基準として示し、それぞれの段階に到達したときの特徴が表にまとめられている。GIGA スクール版では利用できない。

CHECK レッスン 22

共同閲覧・編集モード

他の児童生徒の回答を閲覧したり、編集したりすることのできるモード。共同閲覧モードの場合、他の児童生徒のキャンバスに対して、コメント・いいね機能を使って交流できる。共同編集モードでは、他の児童生徒のキャンバスに書き込むことができる。多様なコミュニケーションにより学びの質をさらに高めることができる。なお、GIGA スクール版では、共同閲覧モードのみ利用できる。

CHECK レッスン 18、レッスン 26 他

回答一覧機能

児童生徒の全ての回答状況が、提出の有無に関係なく一覧で表示される。教師は、自分の端末から進捗を確認しながら授業を進められる。

CHECK レッスン 15

プレゼンテーション機能

画面を大きく表示して発表を行える。発表中でも他の児童生徒の回答について、リアルタイムにコメントやいいねを送ることができ、発表を聞く児童生徒も質問やフィードバックなどを行いながら、全員が主体的に授業参加できる。

回答比較機能

クラスの回答一覧の中から、教師が児童生徒全員に見せたい回答を選択し、大きく表示できる。児童生徒が自分の画面で複数の回答を比較することもでき、他の児童生徒の考えを知り学ぶ機会が作れる。

CHECK レッスン 19

授業チャット機能

授業に参加している児童生徒とオンラインで一斉にコミュニケーションする機能。質問や感想のやりとり、教材データを共有できる。教師だけがコメントできるロック機能もある。

CHECK レッスン 26

採点機能

児童生徒が取り組んだ課題について、100 点満点での採点や「たいへんよくできました」などのスタンプでの評価できる。成績 CSV をダウンロードすれば、児童生徒一人一人の課題の取り組み状況、提出日時、成績などをまとめて確認できる。

CHECK レッスン 16

ポートフォリオ機能

児童生徒が取り組んだ活動を時系列で表示する機能。教科毎の学習記録として保管でき、振り返り（リフレクション）に効果的に活用できる。なお、GIGA スクール版では直近 6 ヶ月よりも前の課題は閲覧できない。

課題テンプレート

小中高で扱う 6,000 点以上の授業用のテンプレート（ひな形）のこと。オリジナルテンプレートを作成でき、校内や学校外に共有できる。

CHECK レッスン 10

ムーブパーツ

移動や回転などの権限が付与され、児童生徒が動せるように設定された「パーツ」のこと。発達段階や目的に応じて、さまざまなバリエーションの課題を作成できる。

数式入力機能

課題作成時にキャンバス上で数式を入力し、分数などの数式を含む課題を綺麗に作る機能。簡単入力と TeX 入力を選択でき、簡単入力であれば電卓とほぼ同じやり方で入力できる。

ログ分析

児童生徒の学習履歴を解析すること。パーソナリティや人間関係の理解を深め、より多角的に児童生徒を理解することができる。

CHECK レッスン 21

ワードクラウド

児童生徒が入力したキーワードを視覚的に整理できる。コメントの数や関連性などを直感的に知ることができる。なお、GIGA スクール版では利用できない。

CHECK レッスン 20

発言マップ

授業内の児童生徒同士のコミュニケーションの濃淡がわかる。他の児童生徒のキャンバスを閲覧したり、コメント・いいね機能のやりとりなど、つながりを可視化でき、クラスのコンディション把握に活用できる。なお、GIGA スクール版では利用できない。

CHECK レッスン 21

COLUMN

スクールタクトのことをもっと知ろう!

スクールタクト研究会

スクールタクトを使う全国の先生が参加している勉強会です。Facebookのアカウントを持つ先生が参加希望を申請し、承認された後に入会できます。様々な地域、校種、年次の先生が集まるので、枠を超えた交流を行えるようになります。また、スクールタクトを提供するコードタクトのスタッフから、スクールタクトの更新情報やイベント告知が行われます。ぜひご参加ください。

- **スクールタクト研究会**
  https://bit.ly/3xChA1u

スクールタクト公式 Twitter

スクールタクトに関する情報をつぶやきます。たまにお返事がくることも!?

- **スクールタクト公式 Twitter**
  https://bit.ly/3xqI9a4

COLUMN

スクールタクトを使って学ぶ子どもたちの声

「紙じゃないことにより、色を変えたりする時間が短縮され、課題に集中できます。また、外で観察などをする時、テキストを打てたりするので楽だし、テキストを打った時、何文字目かがわかるようになっていて「1200文字から1500文字で書きなさい」などの問題に活用できます。また、他の児童の意見や予想を見られる共同閲覧モードや、それにコメントできたりするので学習の楽しみも広がってきます。」

「字が書きやすいし、相手の言いたいことなどがすぐに見られる。あと、相手と共感しやすい。例えば、コメントで『確かにここはこうだよね。』とか『こういう考えもあっていいね』っていうコメントで共感ができると思いました。あと、コロナで近くに行って話ができないけど、共同閲覧で近くに行かなくても意見を聞ける。」

「スペルの入力は、ローマ字の練習になったし、教科書やノートみたいに幅を取らないし、鉛筆みたいに折れないし、とても使いやすい。それに画像を使って説明が詳しくできました。そして指一本でできることからも、ストレスが少なくなる。鉛筆は、使った後に手を見てみると汚くなっていてストレスがある。」

「今はコロナがあるから、相談をなるべく少なくしているせいで、みんなの意見がわからないけど、共同閲覧をすることでみんなの意見が見られて、コメントもできるから、お互いの意見がわかり合えて良いと思いました。」

執筆協力： 株式会社 MT 技研制作所　様

2021.8 版

これならできる！

schoolTakt 校内研修のはじめかた

2021 年 08 月 1 日 初版第 1 刷発行

著 者　株式会社コードタクト

発行人　後藤正樹

編集人　後藤正樹

発行所　株式会社コードタクト
〒 150-0044 東京都渋谷区円山町 28-4 大場ビル A 館 2 階 b 室
電話番号：03-4446-5014

本書の全部または一部を、株式会社コードタクトおよび著者の承諾を得ずに無断で複写（コピー）することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。
これならできる！ schooltakt2021.8 版データは活用ライブラリ「すぐに使えるヒント集」からダウンロードしてください。

活用ライブラリをご覧いただけます。▶　https://qr.paps.jp/49TiF

code Takt

株式会社コードタクト

〒150-0044 東京都渋谷区円山町28-4 大場ビルA館2階b室

TEL:03-4446-5014 | https://codetakt.com | info@codetakt.com